

こころに残る景観資源

きしわだ景観100選

(H24～R4)

～ こころに残るあの場所を 未来へつむぐ物語 ～



「岸和田のゆたかな景観」を継承するために

岸和田は、緑豊かな山と雄大な海に面しており、多彩な自然環境に恵まれるとともに、古代から現代にいたるまで多くの人々が住み、活力ある文化を育むなかで、豊富な歴史・文化遺産が集積され、多様な景観をつくりだしてきました。

本市では、市民の皆さまに岸和田の優れた景観をまもり、はぐくみ、つくりだし、次世代へつないでいただく必要があるとの思いから、「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」を平成24年から実施し、皆さまからご応募いただいた景観資源を、学識経験者で構成する「こころに残る景観資源発掘委員会」による審査のうえ、「こころに残る景観資源」として、令和4年度までに106か所を指定しました。

本冊子は、106のこころに残る景観資源の写真やエピソードを1冊にまとめたもので、市民の皆さまに、岸和田の優れた景観に気付き、岸和田の魅力や賑わいが多くの方々に認知され、継承されてゆくきっかけになればとの思いで、作成しました。

おわりに、本プロジェクトにおいて、ご応募や、まちかど審査などにご参加いただきました多くの皆さまをはじめ、指定にあたって、ご尽力いただきました「こころに残る景観資源発掘委員会」の歴代委員の方々に深く感謝申し上げます。

令和6年3月

岸和田市長 永野 耕平

目次

- 01 こころに残る景観資源発掘プロジェクトについて
- 03 こころに残る景観資源 きしわだ景観100選 一覧
- 06 こころに残る景観資源（臨海景観区）
- 16 こころに残る景観資源（旧市街・歴史景観区）
- 52 こころに残る景観資源（沿道型市街地景観区）
- 60 こころに残る景観資源（新市街地住宅景観区）
- 78 こころに残る景観資源（里の景観区）
- 107 岸和田市景観重要樹木の紹介
- 108 こころに残る景観資源（自然緑地景観区）
- 122 テーマ別こころに残る景観資源マップ
- 129 景観資源の啓発に関する取組みの紹介(ちきちきWalk)
- 130 こころに残る景観資源 発掘委員会 歴代委員の紹介

※本冊子をご覧いただくにあたってのお願い

「こころに残る景観資源」は、平成24年度から令和4年度にかけて一般公募したもののなかから指定したものです。冊子掲載の写真は、現在の状況と異なる場合があります。また、指定後、所有者様のご事情などにより、詳しい場所を掲載していない景観資源もございます。ご了承くださいませようお願いいたします。

掲載されている「こころに残る景観資源」の多くは、道路など公共空間からの視点であり、多くの人や車両等が往来している場所や、立ち入りが制限されている場所もあります。景観資源を訪れる際は、公共交通機関を利用するなどし、まわりの迷惑にならないように、くれぐれも気を付けていただきますよう、お願いいたします。

こころに残る景観資源発掘プロジェクトについて

岸和田市景観計画

岸和田市景観計画は、恵まれた自然・歴史・文化資産を活かし、岸和田市にふさわしい風格ある景観づくりに努めることで、更に岸和田らしい魅力あふれた快適なまちとして、これを次代の市民、事業者を引き継いでいくことを目的に策定しています。

景観形成の基本目標である『豊かな自然環境と歴史的環境が織り成す「個性的快適環境都市」の創生』を実現するためには、市民、事業者、行政が総合的かつ多面的にお互いの立場を理解しながら協力し、優れた景観をまもり、はぐくみ、作りだし、次の世代へつないでいく必要があります。

基本景観区	臨海景観区	旧市街・歴史景観区	沿道型市街地景観区	新市街地住宅景観区	里の景観区	自然緑地景観区
主な土地利用	工業、港湾	住宅、商業	住宅、商業、工業	住宅、商業	農地、樹林地	樹林地

海 ←-----> 山

こころに残る景観資源発掘プロジェクト

こころに残る景観資源発掘プロジェクトは、地域の景観の核となる資源を発掘し、その情報を蓄積、共有していくことで地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するなどの効果を創出する事を目的として平成24年度よりプロジェクトを開始し、令和4年度に至るまで、106件を景観資源として指定しました。



まちかど審査の様子

プロジェクトの流れ



【指定状況（2023年3月現在）計106件】

樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、まち景観19件、ひとの営み景観10件、眺望景観9件、歴史・文化景観11件、特別編6件

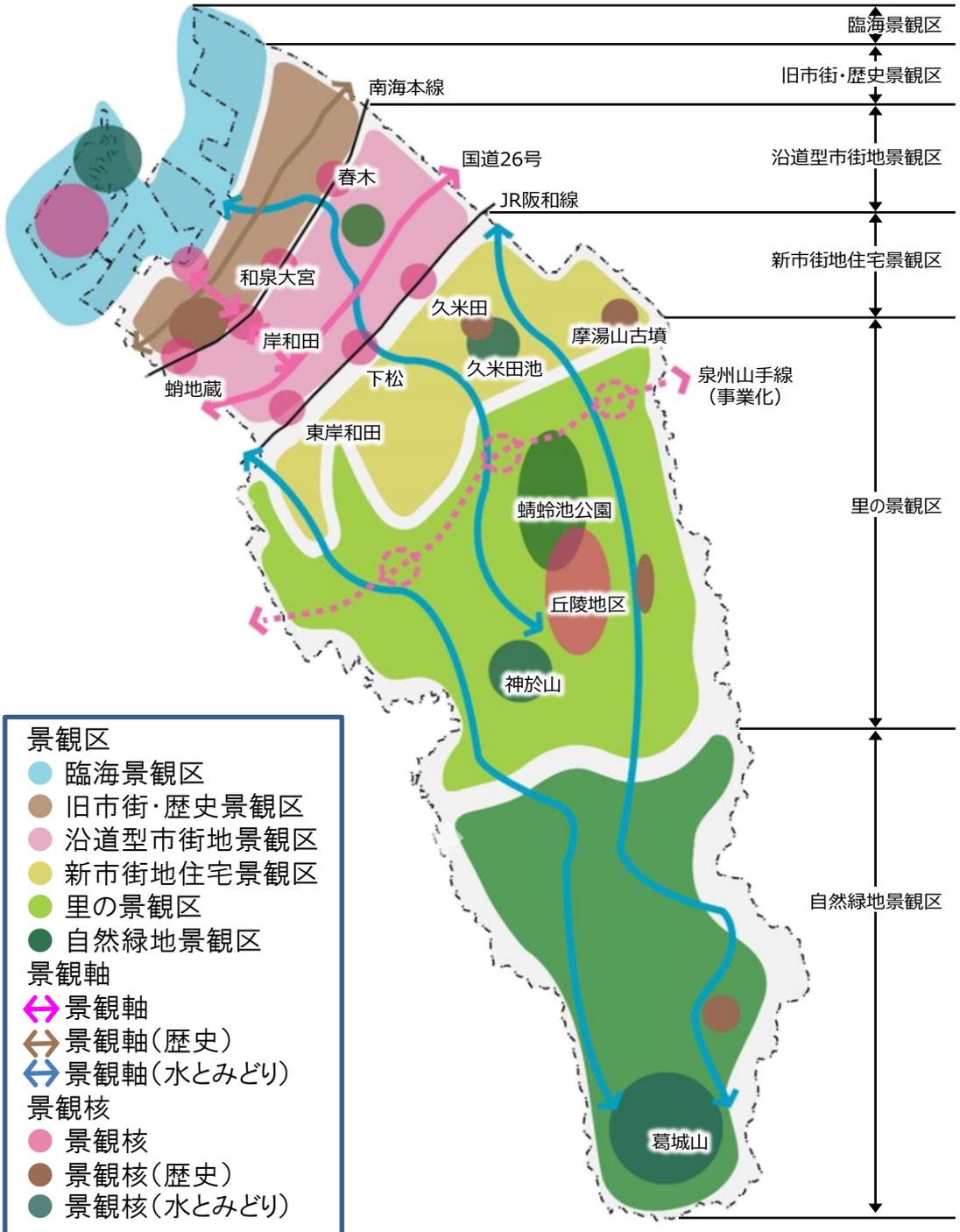
「未来へつむぐ物語」

「景観十年・風景百年・風土千年」と言われるように、私たちの日々の営みが、いつか時を経て、風土としてその土地に息づくことを想定しながら、「未来につなぐ」景観形成に取り組むことが重要だと考えられます。

これまで、優れた景観形成に寄与する地域の人々に大切に守られてきた「樹木」「みち」「水辺」「まち」「ひとの営み」「眺望」「歴史・文化」について景観資源を発掘し、その情報の蓄積、共有に努めています。

景観構造図

“新・岸和田づくり”～都市計画マスタープラン～より



「こころに残る景観資源 きしわだ景観100選」 一覧

臨海景観区 (9件)

		P.06
1 岸和田大橋 (阪神高速湾岸線)	【港緑町・みち・H26指定】	P.07
2 岸和田港を臨むみち	【港緑町・みち・H26指定】	P.08
3 はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく	【地蔵浜町・水辺・H29指定】	P.09
4 たくさん釣りたい	【木材町・ひとの営み・R2指定】	P.10
5 春の訪れを告げる「いかなご魚」	【地蔵浜町・ひとの営み・R2指定】	P.11
6 木材町の貯木場周辺	【木材町・眺望・R3指定】	P.12
7 岸和田カンカンベイサイドの岸和田水門	【港緑町・眺望・R3指定】	P.13
8 岸和田カンカンベイサイドの日の出の風景	【港緑町・眺望・R3指定】	P.14
9 地蔵浜の夕景	【地蔵浜町・眺望・R3指定】	P.15

旧市街・歴史景観区 (34件)

		P.16
10 中央小学校のエノキ	【堺町・樹木・H24指定】	P.18
11 二の丸公園 マツ	【岸城町・樹木・H24指定】	P.19
12 岸和田城堀端の桜並木	【岸城町・樹木・H25指定】	P.20
13 堺町のだんじり小屋横	【堺町・みち・H26指定】	P.21
14 お寺の道 (本町紀州街道)	【本町・みち・H26指定】	P.22
15 南町のみち (紀州街道)	【南町・みち・H27指定】	P.23
16 春を待つ岸和田城の桜道	【岸城町・みち・H26指定】	P.24
17 お堀と城下町	【岸城町・水辺・H29指定】	P.25
18 岸和田城を彩る夏の華	【岸城町・水辺・H29指定】	P.26
19 岸和田城水辺	【岸城町・水辺・H28指定】	P.27
20 時を越えて (春木中学校の赤レンガ塀)	【松風町・まち・R1指定】	P.28
21 春木西福寺	【春木本町・まち・H30指定】	P.29
22 北町 寺町筋	【北町・まち・R1指定】	P.30
23 中町 城跡の名残り	【中町・まち・H30指定】	P.31
24 本町のまちなみ	【本町・まち・R1指定】	P.32
25 岸城町 マンサード長屋	【岸城町・まち・R1指定】	P.33
26 宮本町 城見橋への道	【宮本町・まち・R1指定】	P.34
27 元旦の朝日に映える岸和田城	【岸城町・まち・R1指定】	P.35
28 輝く岸和田城	【岸城町・まち・H30指定】	P.36
29 岸城町 十六軒長屋	【岸城町・まち・R1指定】	P.37
30 地蔵伝説を伝えるレトロ建築 (南海蛸地蔵駅)	【岸城町・まち・H30指定】	P.38
31 岸和田観音 節分	【五軒家町・ひとの営み・R2指定】	P.39
32 頼もしい応援団と歴史的なまちなみ (本町)	【本町・ひとの営み・R2指定】	P.40
33 岸和田とだんじり祭り	【岸城町・ひとの営み・R2指定】	P.41
34 望郷～岸和田城の天守閣から～	【岸城町・眺望・R3指定】	P.42
35 旧和泉銀行本店	【北町・歴史文化・R4指定】	P.43
36 正覚寺の鐘楼と枝垂れ桜	【堺町・歴史文化・R4指定】	P.44
37 杉江能楽堂	【岸城町・歴史文化・R4指定】	P.45
38 岸和田復活教会	【岸城町・歴史文化・R4指定】	P.46
39 自泉会館	【岸城町・歴史文化・R4指定】	P.47
40 威風堂々岸和田城	【岸城町・歴史文化・R4指定】	P.48
41 五風荘庭園と家屋	【岸城町・歴史文化・R4指定】	P.49
42 岸和田だんじり祭 灯入れ曳行	【宮本町・特別編・R4指定】	P.50
43 朝霧に包まれた岸和田城	【岸城町・特別編・R4指定】	P.51

「こころに残る景観資源 きしわだ景観100選」 一覧 (景観区別)

沿道型市街地景観区 (7件)

44 上町の楠	【上町・樹木・H25指定】	P.53
45 中央公園のモミジバフウ	【西之内町・樹木・H24指定】	P.54
46 中央公園のポプラ並木	【西之内町・樹木・H25指定】	P.55
47 吉井町のエノキ (景観重要樹木)	【吉井町・樹木・H24指定】	P.56
48 春木川遊歩道 (兵主神社横)	【西之内町・みち・H27指定】	P.57
49 農業まつり	【西之内町・ひとの営み・R2指定】	P.58
50 旧岸和田村尋常小学校	【西之内町・歴史文化・R4指定】	P.59

新市街地住宅景観区 (17件)

51 西向寺の息吹	【土生町・樹木・H25指定】	P.61
52 久米田寺へ続くみち	【池尻町・みち・H27指定】	P.62
53 久米田池遊歩道 (平成26年度指定分)	【池尻町・みち・H26指定】	P.63
54 久米田池遊歩道 (平成27年度指定分)	【池尻町・みち・H27指定】	P.64
55 東ヶ丘町グリーンベルトロード・花絨毯	【東ヶ丘町・みち・H26指定】	P.65
56 久米田池の幻想的なハーモニー	【池尻町・水辺・H28指定】	P.66
57 水鳥と久米田池	【池尻町・水辺・H29指定】	P.67
58 久米田池の夏祭り	【池尻町・まち・H30指定】	P.68
59 泉光寺と桜	【門前町・まち・R1指定】	P.69
60 古代の人々の営みを思い私たちは確かめる	【池尻町・ひとの営み・R2指定】	P.70
61 久米田寺千本搦き	【池尻町・ひとの営み・R2指定】	P.71
62 田を潤す久米田池	【池尻町・ひとの営み・R2指定】	P.72
63 久米田寺の多宝塔	【池尻町・歴史文化・R4指定】	P.73
64 世界かんがい施設遺産の久米田池	【池尻町・歴史文化・R4指定】	P.74
65 小金塚古墳	【池尻町・歴史文化・R4指定】	P.75
66 久米田寺行基参り	【池尻町・特別編・R4指定】	P.76
67 玉ねぎの碑	【土生町・特別編・R4指定】	P.77

里の景観区 (27件)

68 流木墓園の桜並木	【流木町・樹木・H25指定】	P.80
69 奥家の椋 (景観重要樹木)	【阿間河滝町・樹木・H25指定】	P.81
70 蜻蛉池公園のヤナギ	【三ヶ山町・樹木・H25指定】	P.82
71 蜻蛉池公園のメタセコイア	【三ヶ山町・樹木・H24指定】	P.83
72 積川神社の椋と楠	【積川町・樹木・H25指定】	P.84
73 流木墓園桜並木みち	【流木町・みち・H27指定】	P.85
74 阿間河滝の阿弥陀寺への参道	【阿間河滝町・みち・H27指定】	P.86
75 包近楠本神社もも花参道	【包近町・みち・H26指定】	P.87
76 福田町のまちなみ	【福田町(尾生町)・みち・H27指定】	P.88
77 牛滝街道 (積川町)	【積川町・みち・H27指定】	P.89
78 バラの小道 (蜻蛉池公園)	【三ヶ山町・みち・H27指定】	P.90
79 メタセコイアの小道 (蜻蛉池公園)	【三ヶ山町・みち・H27指定】	P.91
80 山直中町 錦秋のスリバチ池	【山直中町・水辺・H29指定】	P.92
81 田治米町 ポピー咲く七ツ池	【田治米町・水辺・H29指定】	P.93
82 蜻蛉池公園大池の水鏡	【三ヶ山町・水辺・H28指定】	P.94
83 積川町 水路のある古の町並み	【積川町・水辺・H28指定】	P.95
84 意賀美神社 雨降りる滝	【土生滝町・水辺・H28指定】	P.96

「こころに残る景観資源 きしわだ景観100選」 一覧 (景観区別)

85 日没前 (山直南地区)	【山直南地区・まち・H30指定】	P.97
86 積川町 元本街道のまちなみ	【積川町・まち・H30指定】	P.98
87 阿間河滝町 長屋門坂	【阿間河滝町・まち・R1指定】	P.99
88 夕暮れの北阪	【北阪町・まち・R1指定】	P.100
89 神於寺の参道	【神於町・まち・H30指定】	P.101
90 白原峠の星祭り (東葛城にて)	【上白原町・まち・H30指定】	P.102
91 神於山	【尾生町・眺望・R3指定】	P.103
92 蜻蛉池公園の展望台	【三ヶ山町・眺望・R3指定】	P.104
93 内畑町の橋から	【内畑町・眺望・R3指定】	P.105
94 神於山の展望台から	【神於町・眺望・R3指定】	P.106

自然緑地景観区 (12件) P.108

95 大沢神社の杉	【大沢町・樹木・H25指定】	P.110
96 塔原町・サクラ (景観重要樹木) 【塔原町】	【塔原町・樹木・H24指定】	P.111
97 相川ほたる遊歩道	【相川町・みち・H26指定】	P.112
98 牛滝いよかの郷散策道	【大沢町・みち・H27指定】	P.113
99 和泉葛城山登山道	【塔原町・みち・H26指定】	P.114
100 内畑町 田んぼへの水引きの始まり	【内畑町・水辺・H29指定】	P.115
101 大沢町 サギも降り立つ棚田	【大沢町・水辺・H28指定】	P.116
102 牛滝山大威徳寺 一の滝	【大沢町・水辺・H29指定】	P.117
103 牛滝の谷にそそぐ錦流の滝	【大沢町・水辺・H29指定】	P.118
104 東葛城小学校・幼稚園の田植え風景	【河合町・ひとの営み・R2指定】	P.119
105 葛城踊り	【塔原町・特別編・R4指定】	P.120
106 もみいづる大威徳寺	【大沢町・特別編・R4指定】	P.121

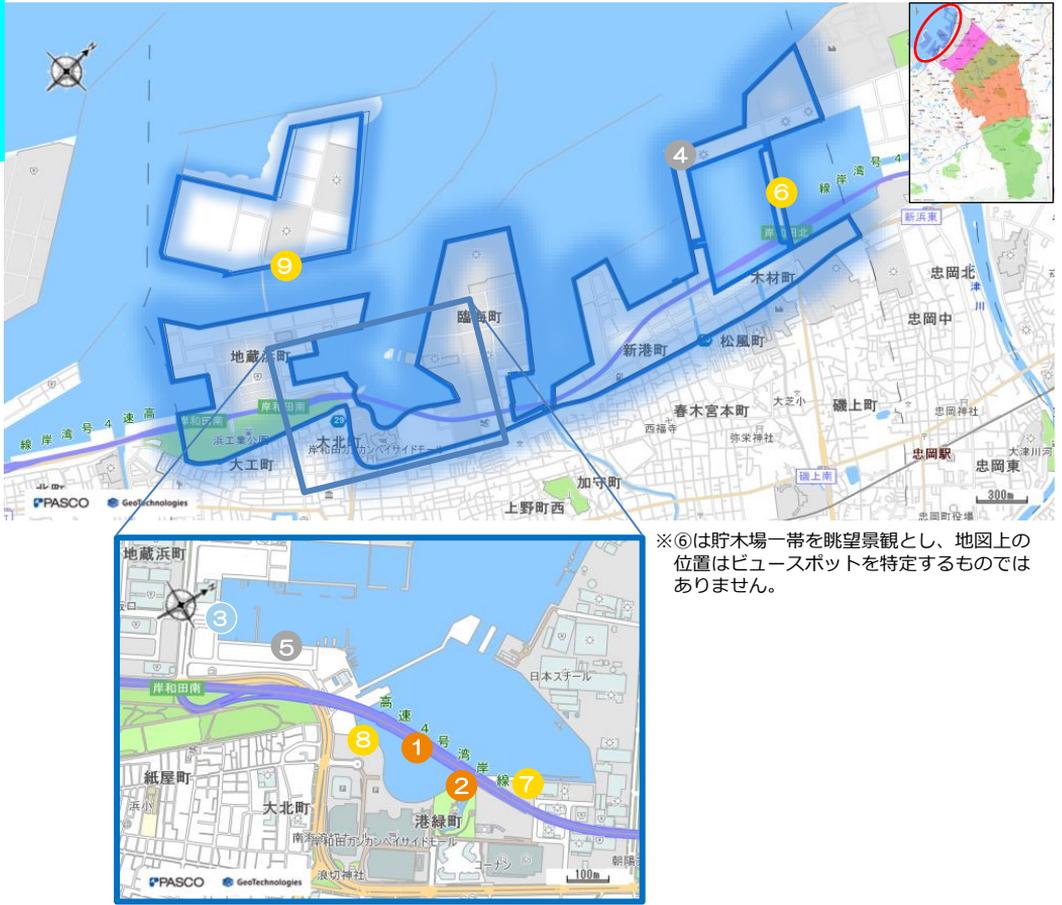
こころに残る景観資源発掘プロジェクト 応募数と指定数 (応募総数：530件、指定件数：100件+特別編6件)

年度	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
テーマ	樹木	樹木	みち	みち	水辺	水辺	まち	まち	ひとの 営み	眺望	歴史 文化
応募 件数	66	41	24	57	52	61	41	40	49	50	49
指定 件数	6	9	9	12	6	9	9	10	10	9	11

こころに残る景観資源発掘委員会で選考し指定した100件のほか、発掘委員会による審議の結果6件を「特別編」として追加指定しています。

※こころに残る景観資源「特別編」とは、過去に各テーマに則り応募されたが、その当時の募集テーマに合わない等の理由により指定されなかったものの中から、特に地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するものを、こころに残る景観資源として追加指定したものです。

臨海景観区



※⑥は貯木場一帯を眺望景観とし、地図上の位置はビュースポットを特定するものではありません。

番号	タイトル	場所	テーマ
①	岸和田大橋（阪神高速湾岸線）	港緑町	みち
②	岸和田港を臨むみち	港緑町	みち
③	はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく	地蔵浜町	水辺
④	たくさん釣りたい	木材町	ひとの営み
⑤	春の訪れを告げる「いかなご漁」	地蔵浜町	ひとの営み
⑥	木材町の貯木場周辺	木材町	眺望
⑦	岸和田カンカンベイサイドの岸和田水門	港緑町	眺望
⑧	岸和田カンカンベイサイドの日の出の風景	港緑町	眺望
⑨	地蔵浜の夕景	地蔵浜町	眺望

1_岸和田大橋（阪神高速湾岸線）



【応募者エピソード】

阪神高速湾岸線の岸和田大橋の優雅な姿は、市内の浜側からはもちろん山手側からも高台から臨むことができる。秋には祭の背景として、夏には花火が浮き上がらせるシルエットとして、多くの人々の心に刻み込まれている。また、この橋は岸和田から自動車で行き出た人、そして旅から戻ってくる人にとって街を代表するランドスケープでもある。さらに最近では海外からの訪問者を乗せた車が来り去る岸和田のシンボルゲートとして、多くの人々の心に刻み込まれている。(51歳/男性)

【発掘委員会講評】

岸和田バイサイドモールから海側を眺めると全長455mの本アーチ橋の雄大な姿があり、エピソードに山手側の高台からも臨むことができるとあるように岸和田のウォーターフロントを印象付けるランドマークといえる。また、応募者の「外出から帰って来る時、あるいは海外からのお客様や岸和田を訪れる方がここを通る時、出迎えてくれるような岸和田のシンボルゲート」というコメントは印象深く感じた。

場所 : 港緑町 阪神高速道路
※視点は高速道路車窓から

テーマ : みち

指定年度 : 平成26年度

指定番号 : 16





2_岸和田港を臨むみち



【応募者エピソード】

「海」を手軽に感じることができる「みち」だと思います。私にとっては小学生のころまで遊んだ懐かしく思い出深い場所でもあります。大工町辺りの砂浜で遊んだあと、波の音を聞きながらこの岸和田港まで歩きました。今では砂浜がなくなり、港の構築物なども大きく様変わりしましたが、ここが海の匂いを間近に体感できる場であることに変わりはありません。また、整備された遊歩道も美しく、ここから眺める夕日は必見です。岸和田港は岸和田市のシンボル・遺産として、これからも永く歴史を重ねていってほしいです。(64歳/男性)

【発掘委員会講評】

江戸時代には、既に海運で栄えたとの記録が残る岸和田港も、岸和田旧港再開発事業等によって、現在では様相を新たにしているが、この海沿いの道にはガス燈を模した街路灯や岸和田港が栄えた時代を象徴する「錨のモニュメント」そして、今も係留された舟を間近で見ることができ、潮の香りが漂うなか、この辺りをそぞろ歩きしながら眺める夕日もとても美しく、海辺のここに残る景観が広がっている。

場所 : 港緑町
 テーマ : みち
 指定年度 : 平成27年度
 指定番号 : 17



3_はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく



【応募者エピソード】

◆新年元旦、青空の岸和田漁港に港一杯に雄々しくたなびく漁船の大漁旗の姿は、この年の人生の励ましと喜び、心の幸福が湧き上がる。また水面の景観は、さらに心を躍らせる。岸和田の漁師の方々の航海安全と大漁の祈願に尊敬し、住民の心からの支援を新年の太陽神に大手を広げて願う。岸和田の漁師の安全活躍は、住民の幸福を培い、地域発展をもたらす。今年も新年から、漁港、漁船の大漁旗にこころウキウキ、人生の将来、未来への勇ましい希望が湧いてくる。（77歳／男性）

◆多くの漁船が整然と並んでいます。どの船にも様々な大漁旗がつけられ、その姿は勇壮であり、圧巻される景観です。（44歳／女性）

【発掘委員会講評】

岸和田を特徴づける漁港は、多くの漁船が整然と並び、人々の営みと賑わいが感じられる水辺である。特に大漁旗がたなびく風景は、航海の安全と大漁を祈願する新年の風習を今に伝えるものである。また、海産物を身近に買うことができるイベントなどが行われており、これからも地域住民に愛される景観として継承してもらいたい。

場所：地蔵浜町 指定年度：平成29年度

テーマ：水辺 指定番号：37

撮影時期：お正月





4_たくさん釣りたい



【応募者エピソード】

この日は僕も釣りに来ていて、1匹も釣ることができなかったです。帰り際に撮りました。後ろの船にはたくさんの魚が乗っているんだろうなあと羨ましく思い、僕もたくさん釣りたいなあと思いました。そして、手前の釣人たちにはたくさん魚が釣れるようにと心の中で願って帰りました。（15歳／男性）

【発掘委員会講評】

木材コンビナートの白灯台があるこの場所は、岸和田市内の釣り人の誰もが知っており、親しまれている場所である。魚釣りは昔からある手軽なレジャーとしての営みであり、深く市民生活に溶け込んだ景観となっている。

場所 : 木材町
 テーマ : ひとの営み
 指定年度 : 令和2年度
 指定番号 : 71



5_春の訪れを告げる「いかなご」漁



【応募者エピソード】

2月末ごろから、大阪府鯉巾着網漁業協同組合がある地蔵浜で水揚げされる「いかなご」。早朝に出港した漁船が帰ってくると港は漁業関係者の活気で溢れます。いかなごを使った「くぎ煮」は、若い頃は食べようと思わなかったけど、年齢を重ねると、春の訪れを感じさせてくれると同時に、祖母や母親の手作りの思い出、漁師さんの仕事風景を蘇らせてくれる1品に変わりました。

(45歳/男性)

【発掘委員会講評】

岸和田漁港では鯉巾着網漁業を主としており、大阪府下でも上位の水揚げ量を誇っている。きれいに漁船が並ぶ港は、日々自然と向き合って作業をする漁師の方々の活気と、マルシェにやってくる人たちの賑わいが感じられる。今後も岸和田の象徴となるひとの営み景観を受け継いでいてもらいたい。

場所 : 地蔵浜町
テーマ : ひとの営み
指定年度 : 令和2年度
指定番号 : 72
撮影時期 : 2月末





6_木材町の貯木場周辺



【応募者エピソード】

木材町の貯木場周辺は様々な景観が楽しめる絶景ポイントです。貯木場の見慣れないブロックや夕日、たくさんのカモメ、近隣の工場の雄大な姿。灯台。釣り人。季節や時間を問わず見どころがあるスポットだと思いますので一度足を運んで頂きたいと思います。

(35歳/男性)

【発掘委員会講評】

昭和41年に完成した木材コンビナートの貯木場（約76ha）は、原木輸出量の規制等により原木取扱量が減少したため、現在水面の大半が低利用ではあるが、海面から出るコンクリート杭の風景は不思議な光景であり、他には見られない特徴的な景観となっている。貯木場の片隅に少量ではあるが貯木の風景が残り、かつて栄えていた海の産業がイメージできる近代的なこころに残る眺望景観である。

場所 : 木材町
 テーマ : 眺望
 指定年度 : 令和3年度
 指定番号 : 81

※貯木場一帯を眺望景観とし、地図上には、ビュースポット（★）を特定していません。



7_岸和田カンカンベイサイド の岸和田水門



【応募者エピソード】

健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳／男性）

【発掘委員会講評】

カンカンベイサイドモールに隣接する岸和田旧港の沖合には岸和田水門がある。この水門は、通常時は旧港内外に出入りする船舶の航路になっており、津波や高潮の際には扉を海中に下ろし、外部からの海水の流入を防ぐ目的がある。現地から海を眺めた時、水門前をゆっくり進み、工業地に接岸する業務船から、港湾の産業が感じ取れる眺望景観となっている。

場所：港緑町
テーマ：眺望
指定年度：令和3年度
指定番号：82





8_岸和田カンカンベイサイドの 日の出の風景



【応募者エピソード】

健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳／男性）

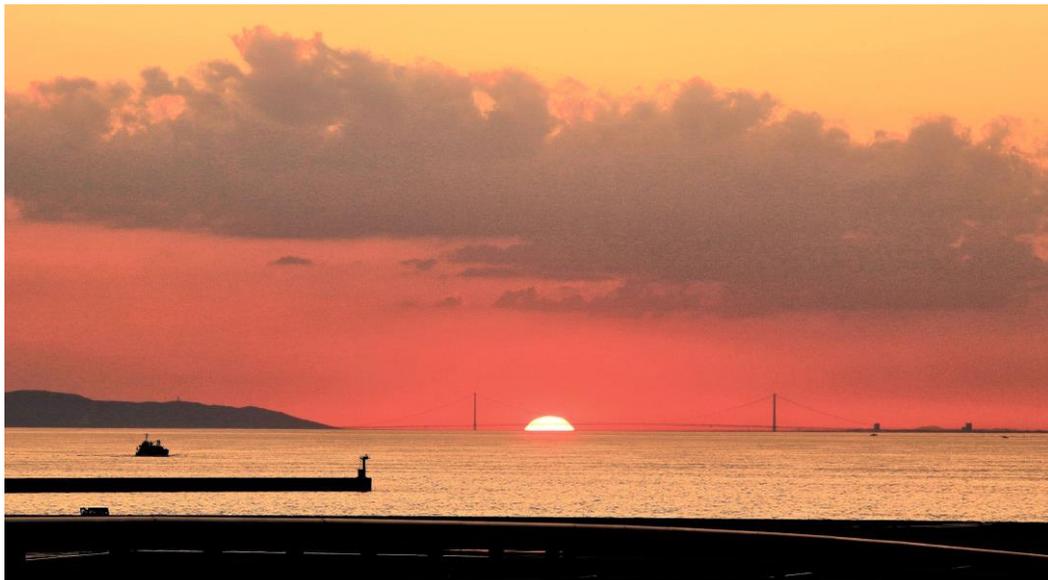
【発掘委員会講評】

白く雄大な岸和田大橋（阪神高速湾岸線）の下には、旧港再開発事業として平成10年よりカンカンベイサイドモールとその周辺に遊歩道が整備された。人工の土木建造物の狭間から明け方の太陽が水面に映り、光る海と相まって朝の清々しさが伝わってくる眺望景観である。

場所 : 港緑町
 テーマ : 眺望
 指定年度 : 令和3年度
 指定番号 : 83



9_地蔵浜の夕景



【応募者エピソード】

健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳／男性）

【発掘委員会講評】

地蔵浜町から阪南2区（ちきりアイランド）へ繋がる岸之浦大橋は自転車歩行者道路と区分されており、歩いて渡ることができる。橋の上から淡路島へ繋がる明石海峡大橋も見ることができた。夕日が沈む時に見られたこの景色はとても美しく、水平線へ沈む夕日と海面や、夕焼け空が山から海へとつながる景観は、岸和田の特徴でもあり、岸之浦大橋からの眺望をより多くの方に見ていただきたい。

場所 : 地蔵浜町
テーマ : 眺望
指定年度 : 令和3年度
指定番号 : 84



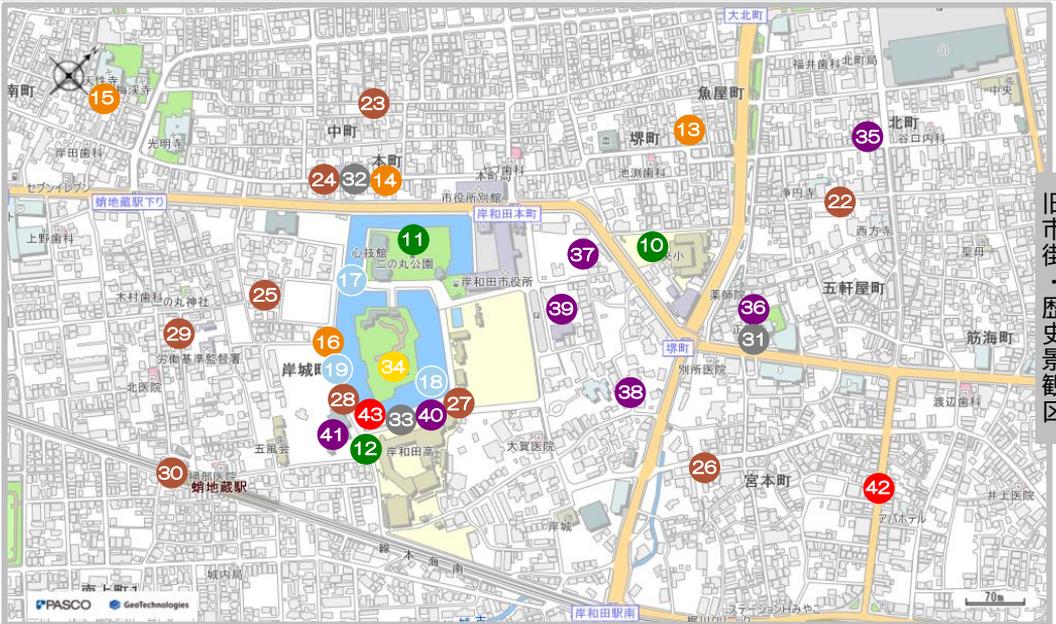
旧市街・歴史景観区

旧市街・歴史景観区



番号	タイトル	場所	テーマ
10	中央小学校のエノキ	堺町	樹木
11	二の丸公園 マツ	岸城町	樹木
12	岸和田城堀端の桜並木	岸城町	樹木
13	堺町のだんじり小屋横	堺町	みち
14	お寺の道（本町紀州街道）	本町	みち
15	南町のみち（紀州街道）	南町	みち
16	春を待つ岸和田城の桜道	岸城町	みち
17	お堀と城下町	岸城町	水辺
18	岸和田城を彩る夏の華	岸城町	水辺
19	岸和田城水辺	岸城町	水辺
20	時を越えて（春木中学校の赤レンガ塀）	松風町	まち
21	春木西福寺	春木本町	まち
22	北町 寺町筋	北町	まち
23	中町 城跡の名残り	中町	まち
24	本町のまちなみ	本町	まち
25	岸城町 マンサード長屋	岸城町	まち
26	宮本町 城見橋への道	宮本町	まち
27	元旦の朝日に映える岸和田城	岸城町	まち
28	輝く岸和田城	岸城町	まち

旧市街・歴史景観区(岸和田城周辺)



旧市街・歴史景観区

番号	タイトル	場所	テーマ
29	岸城町 十六軒長屋	岸城町	まち
30	蛸地蔵伝説を伝えるレトロ建築（南海蛸地蔵駅）	岸城町	まち
31	岸和田観音 節分	五軒家町	ひとの営み
32	頼もしい応援団と歴史的なまちなみ（本町）	本町	ひとの営み
33	岸和田とだんじり祭り	岸城町	ひとの営み
34	望郷～岸和田城の天守閣から～	岸城町	眺望
35	旧和泉銀行本店	北町	歴史・文化
36	正覚寺の鐘楼と枝垂れ桜	宮本町	歴史・文化
37	杉江能楽堂	岸城町	歴史・文化
38	岸和田復活教会	岸城町	歴史・文化
39	自泉会館	岸城町	歴史・文化
40	威風堂々岸和田城	岸城町	歴史・文化
41	五風荘庭園と家屋	岸城町	歴史・文化
42	岸和田だんじり祭 灯入れ曳行	宮本町	特別
43	朝霧に包まれた岸和田城	岸城町	特別

旧市街・歴史景観区 （基本目標）歴史と新しさが織りなす魅力空間の創出



10_中央小学校のエノキ

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

◆現在93歳の母の小学校時代に存在したようだが大きさは記憶にないようだ。知人の93歳の方は、その頃すでに大きなエノキだったと記憶していた。また、別の65歳の知人は、学校に行ったらエノキの前で、DDTを頭にふられたことがある。という風にそれぞれ、エノキを覚えていて、その時の出来事を思い出している。おそらく、講堂が建てられた時に植えられたと考えられる。現在も建っている鉄筋の建物の前だ。

(71歳/男性)

◆友達といっばい遊んだ後えのきの下のかげで休めるおすすめの木。

(10歳/女性)

【発掘委員会講評】

背後にある歴史を感じさせる校舎とよく調和している。学校のシンボルツリーとして多くの卒業生のこころに残る樹木である。これからも在学生のシンボルとなってもらえるように、のびのびと繁ってもらいたい。

場所 : 堺町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成24年度
指定番号 : 1

※この樹木は、平成27年の学校改修時に校庭脇へ移植され、その後、大部分が剪定されています。



11_二の丸公園 マツ



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

私が小さい頃、よく両親と散歩に訪れました。猿に飽きると、今度は木登りです。この松の木だけが、少し曲がっていて、登り易くなっています。小さい頃は、親父に、上げてもらいました。小学校も高学年になると自分で登りました。自転車の練習もここでしました。こけても下が土なので安心です。公園には売店もあり、この木の上で食べたものでした。時間が進み、私が父親になり、子供が出来て、やはり、同じ事を、わが子にもするのでね。ベビーカーを押しながら、猿さんと遊び、まだ小さい我子に木登りを強要する。勿論、自転車の練習もこの場所で行いました。二の丸広場の「松の木は」私たち家族を長年、見続けてくれています。花が咲くわけでもなく、紅葉するわけでもない、松の木。世代が変わってもこの場所に有って欲しいですね。息子も25歳、次は孫を連れて、木登りですね。その日が来るまでお願いしますよ。(50歳/男性)

【発掘委員会講評】

岸和田城に隣接し、歴史的なまちなみと調和するマツ林である。近年芝生化され、訪れる人の一層の憩いの場所となっている。親から子へ思い出が語り継がれるマツ林である。

場所 : 岸城町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成24年度
指定番号 : 2





12_岸和田城堀端の桜並木

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

私の住む町内の桜。小さい頃の散歩は、やっぱりこの場所。七五三で岸城神社へお参りするときも、この場所で写真撮影。勿論、お正月も、中学・高校と学年が進んでも、この場所で撮影。（咲いていない時も）桜を見ると、元気が出ます。これから訪れる季節に感謝する。日本人と桜は、切り離せない何かがある。優しい気持ちになる。毎年、テレビで桜中継が、和歌山城、大阪城と盛ん。「岸和田城も有るのに」と心の中でつぶやく。昨年終了した、NHK連続テレビ小説「カーネーション」。放送直後から、岸和田城を訪れる、観光客は多くなった。私のふるさと、「岸和田市」岸和田城を見られて、ちょっと照れくさい。（50歳／男性）

【発掘委員会講評】

ランドマークである岸和田城と、堀端の桜並木が作り出す景観は、岸和田市の象徴であり、城周辺の良好な景観をリードしている。開花時期には、「お城祭り」が催され、出店と花見を楽しむ多くの人々が賑わう。

場所 : 岸城町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成25年度
指定番号 : 3
撮影時期 : 4月



13_堺町のだんじり小屋横



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

子供の頃、堺町だんじり小屋横の路地は浜から町への抜け道に使っていました。大人になった今でもだんじり見物の時には使っている道です。子供に受け継ぎたいですね。(36歳/男性)

【発掘委員会講評】

エピソードに子供の時に通った路地で今でもだんじり見物の時に使っているとあるようにすぐ横に堺町のだんじり小屋、その先にはだんじり曳行を見ることができる。応募者にとってここに残る「みち景観」であるとともにこの路地から見えるだんじり祭りはずばらしいみち景観をつくり出している。

場所 : 堺町
テーマ : みち
指定年度 : 平成26年度
指定番号 : 18
撮影時期 : 9月祭礼





14_お寺の道 (本町紀州街道)

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

はじめて通った道だったけど、子どもの頃を思い出した。(69歳／男性)

【発掘委員会講評】

江戸時代より、「城下町・岸和田」の商業の中心地として栄えた紀州街道にあたり、写真にあるお寺のほか、本瓦葺き・つし二階・出格子に代表される町家型住宅が連続して立地し、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせるみちとなっている。

場所 : 本町
 テーマ : みち
 指定年度 : 平成26年度
 指定番号 : 19



15_南町のみち（紀州街道）



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

天性寺（蛸地藏）参道や丸型ポストのある南町の「みち」です。お隣の本町で生まれ育った私には、このあたりも子供のころの遊び場でした。最近ではだんじり祭りのときに訪れるくらいになってしまいましたが、今でもここに立つと小さな自転車でこの道を何度も往復したことや、天性寺にお参りされている方々の様子を不思議さと憧れの目で眺めていたことなどを懐かしく思い出します。ここは民家の佇まいや石灯籠、ポストだけではなく道路や電柱、電線なども含め、私が「昭和」を強く感じる「みち」でもあります。（64歳／男性）

【発掘委員会講評】

旧岸和田町の一部で、岸和田城下の一番南に位置することに由来する南町にあって商業の中心地として栄えた紀州街道には、蛸地藏伝説を今に語り継ぐ天性寺参道の石灯籠やつし二階、出格子のある町家型住宅も散見され、岸和田の歴史・文化を今に伝えるみちとなっている。

場所：南町
テーマ：みち
指定年度：平成27年度
指定番号：20





16_春を待つ岸和田城の桜道

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

もう何年咲いたことだろう。黒く太い古木がしっかりと支えられている。それでも幹から美しい花が吹き出していた。若木は倒れないように紐で結ばれている。若い木は一輪 二輪と咲き始めたばかり。毎年満開の桜を楽しんできた堀のまわりは今、世代交代を始めているようだった。岸和田城はいつもと変わらない様子で見守っていた。さわやかな気持ちで歩いた今日この日の道・・・(75歳/女性)

【発掘委員会講評】

桜並木に彩られた堀端のみちは再整備のうえ、新たな城の写真撮影スポットも創出され、たくさんの観光客や市民が来訪する岸和田のシンボル「岸和田城の景観」を支える重要な要素となっている。

場所 : 岸城町
 テーマ : みち
 指定年度 : 平成26年度
 指定年度 : 21



17_お堀と城下町



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

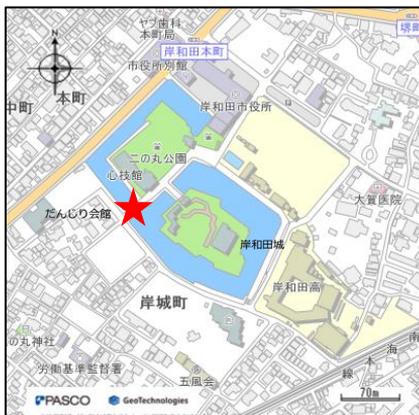
岸和田城のお堀はよく散歩にきて、心おちつく場所です。スイレンの花の咲く頃、水の色と空の色、むこうにみえる城下町がとても好きです。

(67歳/女性)

【発掘委員会講評】

岸和田城の堀ごしに、歴史の風情を感じられる本町の美しい瓦屋根のまちなみを見ることができる水辺である。堀の水面にスイレンが一齐に咲き誇る時期には、写生や写真撮影に多くの人々が来訪され、四季折々の趣と親しみを感じることができる。岸和田城には視点場によって様々な魅力があり、まさに岸和田を代表する景観となっている。

場所 : 岸城町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成29年度
指定年度 : 38





18_岸和田城を彩る夏の華

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

毎年楽しみにしている岸和田の花火大会を今年は岸和田城から見学しました。お堀に映る花火は美しく見る人を魅了してくれる景観です。（44歳／女性）

【発掘委員会講評】

夏の風物詩となっている港まつりの花火が水面に映り、岸和田城の前景となった美しい水辺である。修景整備された散策道の堀端から遠目に花火を楽しめる新たな名所として斬新さを感じた。多くの市民に愛され、岸和田を代表する景観としてこれからも岸和田城の新たな魅力を発掘してもらいたい。

場所 : 岸城町
 テーマ : 水辺
 指定年度 : 平成29年度
 指定番号 : 39

※岸和田みなとまつり花火大会は、臨海部での打ち上げ場所の課題などから、令和2年度から花火大会を行っておりません。



19_岸和田城水辺



【応募者エピソード】

◆岸和田城の周りを仕事の日はいつも散歩しており、ふと、水辺に映る岸和田城を見つけ携帯カメラで撮影しました。撮影した時は、特に珍しいものではないと思っていましたが、この撮影以降、私自身一度もお目にかかれていないので、珍しくて歴史の風情あるものかと思い応募しました。(43歳/男性)

◆「水すめば月うつ」先哲の言葉。「岸和田城は、春には青空にそびえる天守と、苔むした石垣、桜の景観が美しい」と恩師は言う。この大好きな風景が、水辺にうつる。めぐりくると私は平和を祈り、感謝す!! (68歳/女性)

【発掘委員会講評】

岸和田城堀端の水辺は、400年以上続く城下町の歴史の風情が感じられるスポットとして市民に親しまれている。まさに岸和田らしさを象徴する水辺である。また、現在は空にそびえる天守と苔むした石垣、周囲の桜や紅葉に彩られ、堀の四周どこからでも地域の魅力が効果的に伝わっており、今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい水辺である。

場所 : 岸城町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成28年度
指定番号 : 40





20_時を越えて (春木中学校の赤レンガ塀)

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

春木中学校に数百メートルに及ぶ赤レンガの塀があります。その昔、東洋のマンチェスターと言われた大阪の一大工業地帯の一角を担った岸和田の紡績工場跡の名残りが今も感じられます。百年を超える時の流れとともに通学する児童や地域の方々をこれからも見守り続けてくれることでしょう。(51歳/男性)

【発掘委員会講評】

春木中学校には、春木地区の歴史を今に伝える赤レンガ塀が今も残り、印象深いまち景観である。百メートル余り続く赤レンガ塀は、大正時代に建造され、泉州の経済を支えた産業遺産として興味深いものである。卒業生や在校生を見守り続けている春木地区のシンボルとして、これからも受け継いでいってほしい。

場所 : 松風町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 52



※この赤レンガ塀は、平成30年の大阪北部地震以後に、災害による安全性の配慮のため、大部分が撤去されています。

21_春木西福寺



【応募者エピソード】

室町時代に創建されたと伝わる西福寺。紀州街道から石畳と松が佇む参道を進み 山門を抜ければ大きな楠と本堂が目の前に現れ、たちまち本寺の歴史を感じる事ができる。春木地区のまち景観を象徴するものである。（48歳／男性）

【発掘委員会講評】

西福寺は、紀州街道から境内へと続く参道の松並木が美しい特徴的なまち景観である。時代の経過とともに周辺の街並みが変わっても、往時を偲ばせる参道は地域の人々を温かく迎えてくれる。今後も、春木の人々の思いを紡ぎ、いつまでも地域のシンボルとして親しまれる景観であり続けることを願いたい。

場所 : 春木本町
テーマ : まち
指定年度 : 平成30年度
指定番号 : 53





22_北町 寺町筋

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

◆岸和田駅から商店街を通過して脇道に入ると、由緒あるお寺が連なる寺町筋と言われるまちなみに出会いました。明智光秀の肖像画で有名な本徳寺など市街地とは思えない静寂と歴史を感じる佇まいが印象的な景観です。また、道路には隠し文字がありますので探して見て下さい。（45歳／女性）

◆台風一過の朝の様子。パンチのある寺町らしいスカイラインが好きです。末永く残してほしい、岸和田の名所です。（71歳／男性）

【発掘委員会講評】

寺町筋は、寺院が立ち並ぶ歴史の重厚さを感じるまち景観である。修景整備されたまちなみは、訪れる人々を魅了し、ひと時の安らぎをもたらすことだろう。寺町の成り立ちや寺院の由緒に思いを馳せながら、まち歩きを楽しんでもらいたい。

場所 : 北町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 54



23_中町 城跡の名残り



旧市街・歴史景観区

【応募者エピソード】

浜地区の中町に残る石垣。その昔ここから浜側は海岸線だったそうだ。今では家が立ち並び違和感さえ感じるが、当時の町並みを今に伝えるまち景観だと感じました。

(48歳／男性)

【発掘委員会講評】

公園で遊ぶ子供たちの傍らには、岸和田城の防潮堤として築かれたとされる石垣の一部が残されており、今に城郭の往時の姿を伝えているまち景観である。まちの姿は日々変わっていくが、古の人々の営みを示す生き証人としてこれからも守り続けてもらいたい。

場所 : 中町
テーマ : まち
指定年度 : 平成30年度
指定番号 : 55





24_本町のまちなみ

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

歴史を感じる町家建築が建ち並ぶ本町の紀州街道は、岸和田らしさを印象づけるまち景観だと思います。岸和田祭礼のときも良いですが、日常の静寂な雰囲気があるところに残るお勧めの景観です。（51歳／男性）

【発掘委員会講評】

本町の紀州街道沿いは、城下町の風情が今も残り岸和田を象徴するまち景観である。往時の町家や「本町のまちづくりを考える会」の修景によりまちなみが保全され、本町への愛着が感じられる。郷土への誇りと愛着が込められたこの歴史的なまちなみを、いつまでも継承してもらいたい。

場所 : 本町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 56



25_岸城町 マンサード長屋



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

100年近くたって改装もみられますが、当時の高級洋風長屋の様子がみられます。子供の頃中へ入れてもらうのが楽しみでした。施行者は岸和田高校旧校舎（RC）や十六軒長屋も請負った中筋組との事。（71歳／男性）

【発掘委員会講評】

人々の暮らしが息づくマンサード長屋は、子どもの好奇心をくすぐる印象的なまち景観である。大正時代に建築された洋風長屋は、往時の息遣いと住民の愛着が感じられ、地域の景観的シンボルとなっている。周辺には、様々な時代様式の建造物が数多く残されており、岸和田の歴史の歩みを知るうえで貴重な存在である。

場所 : 岸城町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 57





26_宮本町 城見橋への道

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

城見橋を渡って岸和田駅へ向かうときは、必ずこの道を通ります。帰途もこの道です。岸和田に住む誇りを感じる道ともいえます。（71歳／男性）

【発掘委員会講評】

古の城郭を今に伝える城見橋へと続くまちなみの一角に、町家と漆喰の蔵が印象的なまち景観を見ることができる。道路を挟んで立ち並ぶ建造物は、歴史の趣を感じさせつつ、景観への配慮を周辺にもたらしめている。城下町ならではの魅力を効果的に伝える視点場として、これからも大切に保全願いたい。

場所 : 宮本町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 58



27_元旦の朝日に映える岸和田城



【応募者エピソード】

平成31年1月1日。7時41分。朝日に照らされた岸和田城。20年間、(公財)大阪府国際交流財団のホームステイ担当として登録している。これまで多くの外国人の方が我が家に来た。必ず案内するのはここ「岸和田城」と「だんじり会館」。とてもよろこばれている(^_^)岸城神社を出て左手に岸和田高校がある。その近くのお堀から撮影した。朝日に映えるお城はなかなか風情があり神々しく感じられ、思わずシャッターを切った。
(56歳/女性)

【発掘委員会講評】

岸和田のシンボルといえる岸和田城は、国籍を問わず歴史の風情を共感できるまち景観である。元旦の朝日を受けて浮かびあがる天守のシルエットは神々しく、また、これからも人々の思い出に刻まれ続けることだろう。岸和田市民に愛され、こころに残る岸和田城の魅力を、多くの海外の人々にも知ってもらいたい。

場所 : 岸城町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 59





28_輝く岸和田城

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

2018年6月13日 がんこで食事して出てくると岸和田城の空がきれいだった。午後8時ごろです。(77歳/男性)

【発掘委員会講評】

本町の紀州街道沿いは、城下町の風情が今も残り岸和田を象徴するまち景観である。往時の町家や「本町のまちづくりを考える会」の修景によりまちなみが保全され、本町への愛着が感じられる。郷土への誇りと愛着が込められたこの歴史的なまちなみを、いつまでも継承してもらいたい。

場所 : 岸城町
 テーマ : まち
 指定年度 : 平成30年度
 指定番号 : 60



29_岸城町 十六軒長屋



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

◆ 蛸地藏商店街から一本入ったところに十六軒長屋が連なる町並みがあります。大正時代に建てられた長屋住宅は今も大切に使用されており、地域の歴史と趣きを感じるまち景観だと思います。（45歳／女性）

◆ この長屋は大正時代からあり、今も現役でこの場所を見守り続けているそうです。ずっと岸和田市に住んでいましたが知りませんでした。市民より観光で岸和田市に来られる方のほうがよく知っているのではないのでしょうか。長屋がずらっと並ぶこの場所は実際見てみると圧巻です。（23歳／女性）

◆ 60年前城内小学校への通学路のひとつでした。同級生も何人か住んでいましたが皆どうしているのかな？全長120M、大正11年（1922）に建てられた質の高い和風長屋は城内に残る価値ある風景といえるでしょう。（71歳／男性）

【発掘委員会講評】

大正時代に建造された十六軒長屋は、人々の営みが垣間見える印象的なまち景観である。百数十メートルに及ぶ長屋が連なるまちなみはまさに圧巻であり、この景観が今日まで保全されていることに敬意を表したい。これからも息づかいを感じさせるかけがえのないまちなみを守り続けてもらいたい。

場所 : 岸城町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 61





30_蛸地蔵伝説を伝えるレトロ建築 (南海蛸地蔵駅)

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

蛸地蔵伝説が描かれたステンドグラスが設置された駅舎は大正時代に建てられた貴重なレトロ建築であり、地域を象徴するまち景観だと感じました。(48歳/男性)

【発掘委員会講評】

蛸地蔵伝説を今に伝えるステンドグラスが装飾された南海蛸地蔵駅は、歴史的建造物が多く残る地域のまち景観を象徴する建物である。商店街の街並みをリードし、大正時代から現存する建築物として貴重な存在となっている。岸和田城から続く閑静な住宅街や蛸地蔵商店街のシンボルとしてこれからも大切に維持願いたい。

場所 : 岸城町
 テーマ : まち
 指定年度 : 平成30年度
 指定番号 : 62



31_岸和田観音 節分



【応募者エピソード】

いにしえから災害や疫病から身を守るために祈ってきた人々。お参りに来ているたくさんの人の姿に時代が変わっても人々の気持ちは大きく変わらないのだな、と気づかされる。古い時代にも、きっと同じような景色があったはずというノスタルジーな気分になれるひとこま。(44歳/女性)

【発掘委員会講評】

古より災害や疫病から身を守るために祈ってきた人々の様子がわかり、歴史と賑わいが感じられる営み景観である。境内は普段から美しく管理されており、市民の暮らしに溶け込みながらも四季折々の趣が感じられる。後世に継承してもらいたい景観である。

場所 : 五軒屋町
テーマ : ひとの営み
指定年度 : 令和2年度
指定番号 : 74
撮影時期 : 節分 (2月3日)





32_頼もしい応援団と歴史的なまちなみ (本町)

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

いつまでも見守り隊（タイ）！追っかけ隊（タイ）！娘と母のド根性風景
(72歳／男性)

【発掘委員会講評】

だんじりの後ろを追いかける応援団の存在は、地町への愛着や賑わいや親しみを感じさせてくれる。古くから受け継がれてきた歴史的なまちなみと祭りの風景は、今も昔も地元の方々から愛され、生活に溶け込んだ景観である。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい。

場所 : 本町
 テーマ : ひとの営み
 指定年度 : 令和2年度
 指定番号 : 75
 撮影時期 : 9月祭礼



33_岸和田城とだんじり祭り



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

去年の岸和田だんじり祭りで岸和田城をバックにして撮りました。心に残る伝統はやっぱり岸和田だんじり祭りです。(31歳/男性)

【発掘委員会講評】

岸和田だんじり祭りは市民が一番集まり関わっている岸和田ならではの人の営みであり、歴史や伝統、賑わいや親しみを感じられる。また、岸和田城は岸和田のシンボルであり、城と祭りは市民にとって欠かせないものである。今後も、地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい景観である。

場所 : 岸城町
テーマ : ひとの営み
指定年度 : 令和2年度
指定番号 : 76
撮影時期 : 9月祭礼





34_望郷～岸和田城の天守閣から～

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

私は岸和田市に在住して居りませんが、家内の実家が岸和田（本町）です。城下町の風情の感じられる所です。今まで祭りの当日、お城に入れる事が知りませんでした。天守閣には何度も登っていましたが、当日初めて登りました。江戸時代に殿様も同じような風景を眺めていたのかと思うと何となく楽しくなっていました。チャンスがあれば是非登ってみて下さい。

（79歳／男性）

【発掘委員会講評】

平成29年に「続日本100名城」に選定されている岸和田城には年間平均入場者数、約4万人が訪れる。天守閣からは、国の名勝に指定されている「八陣の庭」や、紀州街道沿いにある瓦屋根の歴史的なまちなみを望むことができる。また、祭礼の宮入時には、12町のだんじりが、お堀の周りに列を成し、城下町とだんじり祭りの風景が、い

つまでもここに残るものと容易に理解できる。岸和田城を下から眺める景色と共に、市内を360°眺められる岸和田城天守閣からの景色も多くの方に体験してもらいたい眺望景観のひとつである。

場所 : 岸城町

テーマ : 眺望

指定年度 : 令和3年度

指定年度 : 85





【応募者エピソード】

昭和8年(1933年)竣工、施主寺田基吉、設計渡辺節、施工藤木工務店と伝わる建物で、紀州街道沿いに多く残る近代銀行建築群の一つである。70年間複数の銀行店舗の時代を経て、2005年に有意の人々の努力により復元改修され、現在国登録有形文化財となっている現役のオフィスビルである。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

現在、国登録有形文化財に登録されている旧和泉銀行本店は、1933年に完成してから2004年までの間、多くの金融機関が入店し営まれてきた。所有者の変更に伴いリノベーションされ、商業施設として古い建物をうまく現代に活かされている、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせる景観となっている。

場所 : 北町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 90





36_正覚寺の鐘楼と枝垂れ桜

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

岸和田市内には桜を鑑賞できる場所がたくさんありますが、特にこの正覚寺の枝垂れ桜は美しく情緒深いので紹介したいと思います。鐘楼と桜の組み合わせは絵画の中の世界のように歴史を感じさせます。写真はあいにく雨天時に撮影したもので映えませんが、一見の価値がありますのでシーズンには是非足を運んでいただきたいものです。（36歳／男性）

【発掘委員会講評】

もとは紀州根来寺（和歌山県岩出町にある新義真言宗総本山根来寺）の末寺で「摩頂山圓通寺智光院」という寺院であった。密度のある境内にバランスよく鐘楼と枝垂れ桜が配置されており、その組み合わせとともに、除夜の鐘つきや花見といった地元の人に愛される文化とも相俟って、情緒あふれる景観となっている。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい景観である。

場所 : 宮本町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 91



37_杉江能楽堂



【応募者エピソード】

大学時代、当時の堂主谷口公一氏から謡曲を習った。最後の岸和田藩主岡部長職公揮筆の扁額「国華」が正面を飾る。大正6年の建立から百年を超える大阪府下最古の民間能舞台。現在レンタルスペースとしての設備を整え、新しい創作空間への道を模索している。2022年度国登録有形文化財に選定された。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

2022年に国登録有形文化財に登録された杉江能楽堂は、大正6年に設立され、現存する民間の能楽堂としては、100年の歴史を持つ府内最古のもので松竹梅が書かれている珍しい舞台になっている。現在では能の他に食事処やイベントなどにも利用されるなど歴史や文化を身近に感じる景観である。

場所 : 岸城町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 92





38_岸和田復活教会

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

小学生の頃姉に誘われ、ウサギが画かれたゆで卵のプレゼントを目当てにクリスマスミサに参加した思い出がある。設立は古く明治34年の日本聖公会岸和田教会、昭和16年本町から現在地に移転、私たちは親しく「岸城町北の教会」と呼んでいた縁に囲まれた瀟洒な教会だが、地域の確かな歴史文化景観を形成している。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

1900年チャニング・M・ウィリアムズ監督(=主教)の管理の下、伝道師三木八十五郎が定住伝道を開始し、岸和田市本町に民家を用いて「日本聖公会岸和田教会」を設立した。レンガの外壁と石畳の道には風情があり、岸和田にレンガ工場が発展していた往年の西洋化の名残が懐かしく、教会ともマッチしている。歴史・文化が次世代へと継承される魅力ある景観である。

場所 : 岸城町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 93





40_威風堂々岸和田城

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

大切な人と行った夜の岸和田城が日中と違って感動しました。相方も岸和田城すごいやんって言ってました。
(46歳/男性)

【発掘委員会講評】

岸和田城は千亀利城とも言われ、続日本百名城にも選ばれており、岸和田のシンボルとなっている。夜に撮られた写真からは、静寂で、水面にも映るライトアップされた岸和田城の貫禄を感じる。季節や時間の移り変わりにより、様々な顔を見せてくれている。市民の思いが詰まった、なくてはならない景観のひとつである。

場所 : 岸城町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 95



41_五風莊庭園と家屋



旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

小学生の頃「寺田の別荘」の荒れ放題の庭を「探検」した思い出がある。今、回遊式庭園は美しく整備され市民に開放されている。岸和田藩新御茶屋跡に建つ延べ300坪の木造家屋(現在は食事どころ)は、庭に配された三茶室とともに匠技の粋を凝らした日本建築。昭和の戦前戦後の激変を生き延びた歴史文化景観と云える。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

市指定名勝になっている五風荘庭園は、江戸時代の岸和田城主の新御茶屋や薬草園があった場所に寺田財閥が造園した広大な回遊式庭園である。一般に解放されている美しい庭園には、鯉の泳ぐ池と近代日本建築の粋をこらした柱に節のない母屋とが絶妙に配置されており、和風建築と回遊式庭園が織りなす風景は歴史を感じる景観である。

場所 : 岸城町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 96

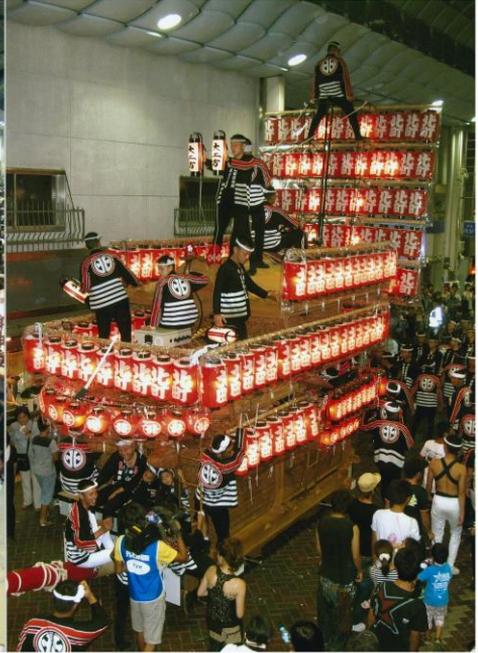
※講評にある当時の場所は、岸和田風物百選(市制60周年記念事業)等を参考にしています。





42_岸和田だんじり祭 灯入れ曳行

旧市街・歴史景観区



【応募者エピソード】

風土と景観の中に見る素晴らしい灯入れ曳行！こうした時代だからこそ日本の魅力を再認識し未来の発展と環境づくりにと岸和田は輝き続けてください。（84歳／男性）R4応募

【発掘委員会講評】

だんじり祭りの夜間曳行では、大小多くの提灯がぶら下げられ、ほのかな明かりでライトアップされた幻想的な光景が見られる。昼間の激しさとは打って変わって、やりまわしもなければ走ることもなく、ゆっくりと街を練り歩く。子どもたちが主役となって、だんじりを曳き、鳴物を響かせ、大工方になり、輝いている姿がある。この灯入れ曳行こそ、だんじり祭りが次世代へと受け継がれていく所以である。岸和田の誇りとして継承すべき景観である。

場所 : 宮本町
 テーマ : 特別編
 指定年度 : 令和4年度
 指定番号 : 101
 撮影時期 : 9月祭礼



43_朝霧に包まれた岸和田城



【応募者エピソード】

その日も市場に野菜の仕入れに行っていました。段々と海の方から霧が発生。前方の信号もかすんで見えます。ゴールデンウィーク明けで忙しいのですが、気持ちがいや、仕入れは簡単に済ませて、岸和田城へ。結果がこの写真です。雪の積もったお城は何度も見た事がありますが、こんな霧に包まれた岸和田城は初めてでした。スマホで数枚撮影しました。数時間後には 見事な晴天になっていました。梅雨入り前に 気温も高くこのような現象が起こったのだと思います。不思議な空間でした。(58歳/男性) R3応募

【発掘委員会講評】

応募いただいた視点場は、お堀の中で最も近くに天守閣を見上げることのできるポイントになっている。散歩や観光で岸和田城へ訪れる方は沢山いるが、朝霧に包まれた岸和田城を眺めることは容易ではなく、岸和田城の見せる幽玄的で貴重な場面を捉えたものと言えるだろう。この他にも、岸和田城には四季折々の景観があり、地域固有の魅力を感じさせる後世に継承すべき景観である。

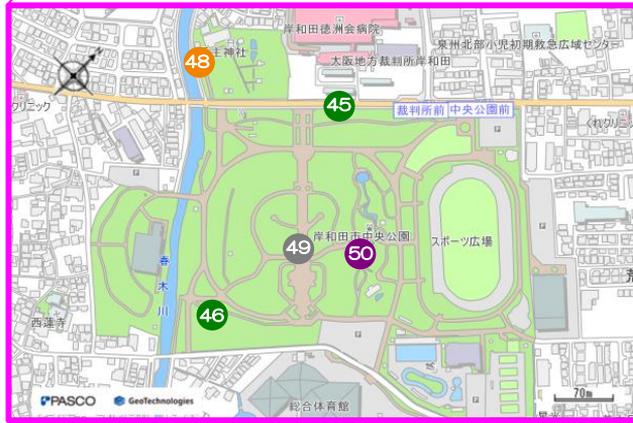
場所 : 岸城町
テーマ : 特別編
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 102
撮影時期 : 梅雨入り前



沿道型市街地景観区



沿道型市街地景観区



番号	タイトル	場所	テーマ
44	上町の楠 ※個人宅のため場所は非公開	上町	樹木
45	中央公園のモミジバフウ	西之内町	樹木
46	中央公園のポプラ並木	西之内町	樹木
47	吉井町のエノキ (景観重要樹木)	吉井町	樹木
48	春木川遊歩道 (兵主神社横)	西之内町	みち
49	農業まつり	西之内町	ひとの営み
50	旧岸和田村尋常小学校	西之内町	歴史・文化

沿道型市街地景観区 (基本目標) 調和のとれた住・工複合のまちづくり



【応募者エピソード】

岸和田城天守閣より、東南（山側）約500メートルの古い民家の敷地内に植えられた3本の大きな楠を見ることができます。寛文6年（1666年）、岸和田城主岡部行隆の時代に、城内を整備拡張する際、岸城神社の山側の『上町』に住んでいた8軒を強制的に現在の新町に移転させました。この史実から、3本のクスノキの樹齢は約345年と考えられ、新町の西北の境界線上に並んで植えられています。上町の古い民家は全て東南向きに建てられ、楠は民家の裏側を隠す役目もしているようです。新町周辺には計5本の楠が現存しています。新町内のすべての道は狭く、人が一人通れるほどの幅で、新町の内外には約20箇所の枡形が設けられ迷路のようで外敵の侵入と行動を妨げるための防御施設であったと考えられます。楠も戦略上かの役目を果たしていたのかもしれませんが。実際、新町を含む上町（池の尻・小寺）全体も南北両端を流れる古城川と西隅に位置する大池（おいけ）と山側の城が池、周囲の湿地帯に守られた岸和田城山手の防御線。要塞のようです。また、地形・文献・伝承・隣接の古城跡の発掘調査などから、建武元年（1334）に名将、知将と呼ばれた楠正成の一族、和田高家が居城（砦）を構築したのは新町であり、岸和田のルーツはこの地であった可能性が高いと思われます。（76歳／男性）

【発掘委員会講評】

高くそびえるこの楠は、個人の住宅地内にありながら、20メートルを超える高さがあり、道路からもよく見える。樹木の成長に合わせて、建築物の庇を削るなど、お住まいの方の心配りがうかがえる。周辺地域の良好な住宅地の景観を特徴づける樹木として価値を有している。

場所 : 上町 指定年度 : 平成25年度
テーマ : 樹木 指定番号 : 4

※個人宅内にある樹木のため、
詳しい場所は非公開としています。



45_中央公園のモミジバフウ

沿道型市街地景観区



【応募者エピソード】

秋、中央公園もたくさんの樹木が色づき華やかに饗宴してくれます。アメリカカワウの並木は、70メートルくらいかな。80メートルくらいかな。赤く色づいたとき、時計台をそとのぞき見しながら歩くのは、ロマンチックです。ちょっと歩いてみませんか。うれしい数分です（新緑時もよし）。（76歳／男性）

【発掘委員会講評】

応募写真は紅葉の時期のものだが、冬の葉のない姿も、新緑の季節も楽しむことができる。公園内の並木であり、地域のシンボルになるというものではないが、中央公園の一部として岸和田の景観を形作っている。

場所 : 西之内町
 テーマ : 樹木
 指定年度 : 平成24年度
 指定番号 : 5



46_中央公園のポプラ並木



【応募者エピソード】

◆中央公園は犬の散歩で毎日訪れますが、多くの木々が植えられており、季節の移り変わりが植物を通じて楽しめるのがいいですね。中でもこのポプラ並木はダイナミック。ポプラの微かな香りを感じながら、この大きな木の下を歩くと小さな悩みは、しばし忘れてしまいます。

(57歳/女性)

◆私の大好きな本に『木も大きな花を咲かせ、皆の心を楽しませてくれる。人間も何か人のためにならなければならない。』と。中央公園の“ポプラ並木”。空高く緑したり、21本が風に乗ってウェーブを作る。葉の音律が笑っているような、歌っているような。八木橋を渡る瞬間、左前方が圧巻。この道は“励ましの道” (64歳/女性)

沿道型市街地景観区

【発掘委員会講評】

中央公園の外周には、隣接する住宅地の道路との境界に、ポプラが一直線に立ち並んでいる。全体として統一された樹容は目を引き、公園内で散歩やジョギング、そしてグラウンドゴルフを楽しむ人々をはじめ、多くの市民に広く親しまれている。

場所 : 西之内町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成25年度
指定番号 : 6





47_吉井町のエノキ (景観重要樹木)



沿道型市街地景観区



【応募者エピソード】

岸和田市の北端、忠岡町と隣り合う吉井町地区にある樹齢100年は超えると思われるエノキの大樹。夏は15m四方に鬱蒼とした葉を広げ、冬は一切の葉を落として天に向かって枝を広げている様は見る物を圧倒する。主幹の幹周りは約4m。根元の丑神白鶴大明神の石塚とともに、変遷激しい新興地区にあり、変わらぬ姿で吉井の人々の暮らしを見つめている。旧家加守田邸に隣接しているが、天の川の小さな橋を渡れば誰でも見ることができる。(65歳/男性)

【発掘委員会講評】

樹高は約15メートル、幹周りは4メートル近くあり、応募者のエピソードにもあるように、見るものを圧倒するような迫力がある。根元にある石塚と傍を流れる天の川とともにこの地域のシンボルとなる樹木である。

場所 : 吉井町
 テーマ : 樹木
 指定年度 : 平成24年度
 指定番号 : 7



48_春木川遊歩道（兵主神社横）



【応募者エピソード】

この遊歩道は中央公園をウォーキングした帰りに通る道です。横には兵主神社があり、時々ですが家族の健康をお願いにお参りします。（72歳／男性）

【発掘委員会講評】

国の重要文化財である兵主神社の横を流れる春木川、その兩岸に遊歩道が整備され、神社社叢と擬木柵が施された春木川の間を縫うように続き、そのすぐ先には緑豊かな中央公園が広がっている。インターロッキング舗装が施されたこの水辺の遊歩道は、中央公園へ散策に訪れる人々を誘う健康ロードとしても利用されている。

沿道型市街地景観区

場所 : 西之内町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 22





49_農業まつり



沿道型市街地景観区

【応募者エピソード】

毎年開催されていた農業まつり。農産物の販売やステージでの催しなどたくさんの人々が集まり、賑やかなひとの営みを感じられる景観です。今年は残念ながらコロナウイルスによる影響で中止となりましたが、またこのような紅葉の下、多くの人々が集まれる日々が早く戻ってくることを願っています。(32歳/男性)

【発掘委員会講評】

中央公園で開催される行事の一つとして、30年来開催されてきた農業まつりがある。当日は農産物の直売所などたくさんの催しがあり、多くの市民が集まる一大イベントになっている。また、公園内の樹木などもきれいに管理されており、自然と人々が織りなす営みや賑わいが色濃く感じられるひとの営み景観である。

場所 : 西之内町
 テーマ : ひとの営み
 指定年度 : 令和2年度
 指定番号 : 73
 撮影時期 : 11月23日



50_旧岸和田村尋常小学校校舎



沿道型市街地景観区

【応募者エピソード】

明治36年岸和田城内に造られた最初の小学校校舎。後年城内小学校の南上町移転の後岸城幼稚園他として使用され、昭和27年市立図書館のある場所に移転した岸城幼稚園本校舎は、私も通園した思い出深い御殿風校舎です。市制60周年を記念して中央公園「紅葉館」として移築復元され、平成9年国登録有形文化財となる。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

岸和田市で最初の小学校建築である。国登録有形文化財の旧岸和田村尋常小学校校舎（紅葉館）は、1983年に現在の岸和田市立図書館の場所からまなび中央公園内に復元移築されたものであり、入母屋屋根を用いた寺院建築風の正面玄関は印象的で、様々な教育機関として活躍していたことがしのばれる。歴史のある格調高い建築物であるだけでなく、庭園や小道、水路などの周囲とも良く馴染んでおり、現代につながる歴史を感じていただきたい景観である。

場所 : 西之内町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 97



新市街地住宅景観区



新市街地住宅景観区

番号	タイトル	場所	テーマ
51	西向寺のいびき	土生町	樹木
52	久米田寺へ続くみち	池尻町	みち
53	久米田池遊歩道（平成26年度指定分）	池尻町	みち
54	久米田池遊歩道（平成27年度指定分）	池尻町	みち
55	東ヶ丘町グリーンベルトロード・花絨毯	東ヶ丘町	みち
56	久米田池の幻想的なハーモニー	池尻町	水辺
57	水鳥と久米田池	池尻町	水辺
58	久米田池の夏祭り	池尻町	まち
59	泉光寺と桜	門前町	まち
60	古代の人々の営みを思い私たちは確かめる	池尻町	ひとの営み
61	久米田寺千本搦き	池尻町	ひとの営み
62	田を潤す久米田池	池尻町	ひとの営み
63	久米田寺の多宝塔	池尻町	歴史・文化
64	世界かんがい施設遺産の久米田池	池尻町	歴史・文化
65	小金塚古墳	岡山町	歴史・文化
66	久米田寺行基参り	池尻町	特別編
67	玉ねぎの碑	土生町	特別編

新市街地住宅景観区（基本目標）生活文化拠点、良好な住環境の創出

51_西向寺のいぶき



【応募者エピソード】

お寺の境内に入るとすぐ目に留まるこのカイヅカイブキ。大きさもさることながら、うねるような幹が圧倒的な生命力を感じさせます。（38歳／男性）

【発掘委員会講評】

幹のダイナミックなうねりと、いぶきとしては、たぐい稀な大きさに、生命力と迫力を感じた。また、巨木の枝を支える支柱も鋼製で組みたてられており、樹木の維持管理に所有者の配慮がうかがえる。毎年いぶきを囲んで盆踊りが行われ、岸和田の民俗文化を支えるとともに、本堂などの境内の建築物とあわせて岸和田の歴史的・文化的な景観を創出している。

新市街地住宅景観区

場所 : 土生町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成25年度
指定番号 : 8





52_久米田寺へ続くみち



【応募者エピソード】

久米田寺には子供の頃から何度もお参りさせてもらっていますが、いつも山門や駐車場から（つまり久米田池側から）境内に入っていました。そのため、このような趣のある「みち」が池の反対側にあったことを最近までは、まったく知りませんでした。趣味のクラブの先輩にこの道を教えてもらいましたが、清楚で、ちょっとミステリアスな雰囲気がとても印象的で、すぐに私のお気に入りの場所となりました。また、狭い道なので、知らない人同士でもすれ違う際には声を掛け合っていることも、私が気に入っている理由です。

(64歳／男性)

【発掘委員会講評】

光明塚古墳（市史跡）の脇を通り過ぎたところから久米田寺へと誘う路地は、ゆるやかにカーブを描きながら数十メートル続く。その両側は瓦葺の白い塀が流れるように連なり、堀越しには久米田寺の黒い雄大な大屋根が現れる。静寂と和風情緒に包まれ、文化財の集積する本エリアにあって、不思議で趣のある景観が演出されている。

新市街地住宅景観区

場所 : 池尻町
 テーマ : みち
 指定年度 : 平成27年度
 指定番号 : 23



53_久米田池遊歩道(平成26年度指定分)



【応募者エピソード】

散歩が好きな私は、色々なところへよく歩きに出かけます。写真の遊歩道は久米田寺へお参りした後、久米田池を一周するために歩いています。四季折々に花が咲きますので、楽しく散歩することが出来ます。皆様も歩きに行かれてはいかがですか？(71歳/男性)

【発掘委員会講評】

水面面積45.6haの雄大な久米田池（府史跡名勝）の周囲に設けられた遊歩道は桜並木や久米田寺（府史跡）とも相まって親水空間へたくさんの人々を誘っている。現地調査では猛暑にもかかわらず数人の方がジョギングを楽しむ姿が見られ、市民に親しまれている景観資源といえる。

新市街地住宅景観区

場所 : 池尻町
テーマ : みち
指定年度 : 平成26年度
指定番号 : 24





54_久米田池遊歩道(平成27年度指定分)

新市街地住宅景観区



【発掘委員会講評】

「世界かんがい施設遺産」に指定され改めて歴史的価値が評価された雄大な久米田池は、桜並木や久米田寺などの自然に恵まれた文化的な価値の高い景観を有している。また、周囲の整備された久米田池遊歩道は、桜祭りや秋祭りの時期をはじめ、ウォーキングやジョギングを楽しむ多くの市民に利用され、親しまれる景観資源である。

場所 : 池尻町
 テーマ : みち
 指定年度 : 平成27年度
 指定番号 : 25

【応募者エピソード】

◆朝、久米田池の方に行ったら、いい風景があるかなと思い出掛けました。昔に比べて久米田池もすごくきれいになったなぁと思いました。前に池に浮かぶ建物を友達がムーミン塔とっていました。おもしろかったので写真に撮らせてもらいました。(41歳/男性)

◆久米田池の遊歩道の桜の花が咲いている時も、散り敷いている時も美しく花びらを踏むのはもったいないと思いながら朝の散歩や撮影を楽しんでいました。(73歳/女性)

◆府下最大級のため池である久米田池は四季折々の絶景を演出し、池を取り巻くこの道は春の桜、夏まつり、行基参りに続く紅葉、そして時折出会える冬の雪みちと見る人を楽しみを与えてくれます。また、普段からもここへくると野鳥、日の出や夕日が沈んでいく情景との出会いなどさまざまな味わいを与えてくれます。(75歳/男性)



※この桜は、平成30年の台風21号上陸の際に損傷し、大部分の木が切除されています。

55_東ヶ丘町グリーンベルト・花絨毯



【応募者エピソード】

- ◆「グリーンベルトロード」…わが町東ヶ丘。町の中央を横断するグリーンベルトと呼ぶ土手がある。土手には町開きの記念樹となる桜の木が植えられた。以来40数年、桜木は町が成熟し、次第に高齢化社会へと辿る姿を見つめて来た。桜木は衰えぬ己を誇示するかのように今、満開の花を咲かせている。町で生まれ育った三男も出ていき、夫婦二人の落ち着いた生活になると、年々グリーンベルトの桜花に逢える春が待ち遠しくなる。二人でグリーンベルトロードを行き来し、ほんわかとした気分に入るのが春の恒例となっている。(76歳/男性)
- ◆200mにわたる斜面ベルト方式の緑地帯に、樹齢44年のソメイヨシノ桜183本が植樹され、春には2000人超町民へ春の華輝きと香りをおおいに楽しませられますよ。また、雨降り、風吹きによる花吹雪と花絨毯はさらに町民の心と体に元気のいづどりを培わせてくれます。尚、道路の他に、桜樹林帯にも散歩専用の徒歩道もあり安全に桜見物が出来ます。是非、お家族でお花見散策にお越し下さいませ、東ヶ丘町へ(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

写真は桜の咲く春の時期であるが、現地調査では緑の葉をつけた桜等が連なっており、日常管理も良くされていた。地域の財産として地元住民が大切に、花の咲く春を楽しみにして待っておられる姿が容易に想像された。並木の前の路上駐車にもお互いに気を付ければ一層すばらしい地域の誇りとなる景観といえる。

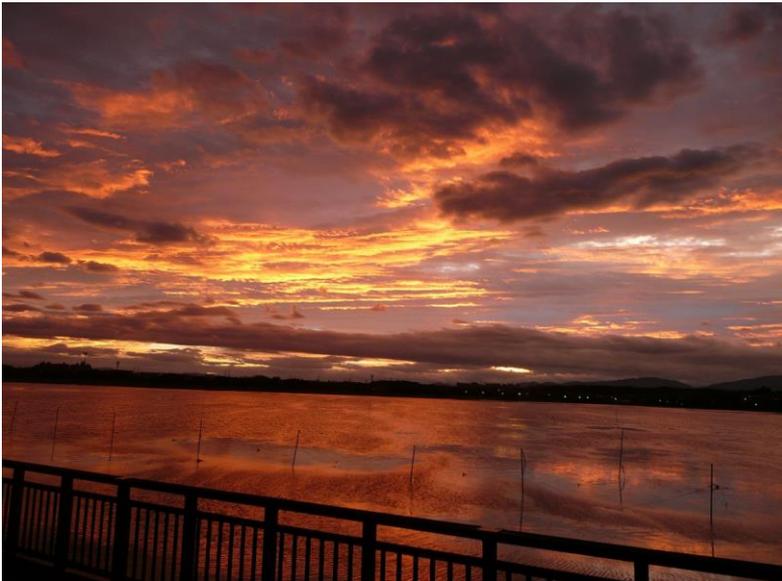
場所 : 東ヶ丘町 指定年度 : 平成26年度
テーマ : みち 指定番号 : 26



新市街地住宅景観区



56_久米田池の幻想的なハーモニー



【応募者エピソード】

◆夏のはじめ頃に、朝早く久米田池に行って、朝日が出る頃に、久米田池がきれいな色に、そまってきたので撮影しました。普段の池と少しちがって幻想的に見えました。

(42歳/男性)

◆久米田池といえば、広大な灌漑用地、鳥の国際空港といったイメージがありますが、寒ブリナ漁の時期になると、ここは養魚地でもあるということ再認識します。この水辺での漁の日には、魚だけではなく、網に掛かるザリガニ、カメなどの水生動物や水草、藻なども目にすることができ、漁のおこぼれ目当て？にダイサギ、アオサギなどの水鳥も多く集まります。また、この日は、私にとっては久米田池を利用してきた人々の知恵と、多くの生き物を育むこの池の豊かさや恩恵を、いっそう強く感じさせられる日でもあります。(65歳/男性)

◆8月29日午前5時20分、散歩中東の空の朝ぼらけ。空と池の幻想的なハーモニー。

(80歳/男性)

【発掘委員会講評】

久米田池は空と池の色彩が調和しており、幻想的な早朝の光景が非常に美しく、野鳥の飛来や、ヘラ鮒漁を行なう生活景観など、四季折々の趣がある。冬には多くの野鳥が見られ鳥の国際空港といえる光景や桜などの視点場が設けられており、散策やジョギングを楽しむ姿も見られた。また、維持管理を市民ボランティアが行うなど、今後も市民の力で魅力を持続してもらいたい水辺である。

場所 : 池尻町 指定年度 : 平成28年度

テーマ : 水辺 指定番号 : 41



57_水鳥と久米田池



【応募者エピソード】

◆アオサギが沢山いますが、この鳥さんは何を見ているのでしょうか？ このコは…水色の世界に溶け込んで幸せそうにみえました。きれいな池をいつまでも私たちが保持して、いつまでも鳥たちのお気に入りの場所であってもらえればいいなと思いました。(59歳/女性)

◆黒い顔に白い化粧をしたオオバン。6個以上も一度に卵を産むのですね。みんな元気に孵ったらしいですね。鳥さんもお母さんはたくましいです。こんな環境をいつまでも大切にできるのは人間の力！岸和田の力！久米田池がいつまでもきれいなため池であるように！と、みんなの意識ができれば！と思います。(59歳/女性)

◆久米田池の夕方(4月後半) (55歳/男性)

【発掘委員会講評】

地域の人々により維持管理されている久米田池は、多様な生態系を育み、親しみと賑わいのある水辺である。多くの野鳥が生息し、まちなかの貴重なオアシス空間として象徴的である。また、季節の移ろいや潮汐によりまた違った表情を見ることが出来る岸和田を代表する景観である。今後も、人々の営みや地域固有の魅力を感じさせてくれる景観が発掘されることを楽しみにしたい。

場所 : 池尻町 指定年度 : 平成29年度
テーマ : 水辺 指定番号 : 42





58_久米田池の夏祭り

新市街地住宅景観区



【応募者エピソード】

久米田池の風物詩となっている夏祭り。多くの人々が楽しみにしている打ち上げ花火が祭のフィナーレ。夕暮れ時に湖面を見ながら遊歩道を散策するのもお勧めです。(48歳/男性)

【発掘委員会講評】

地域の人々により行われる久米田池の夏祭りは、笑顔あふれる夏の風物詩として賑わいと郷土愛を感じるまち景観である。日中から様々な催しが始まり、遊歩道に並べられた手作りの灯籠に火が灯されるころ、花火が水面を彩り、訪れた人々の拍手や歓声が鳴り響く光景は人々の心に深く刻まれることだろう。久米田池は、これからも様々な人々の関わりや営みにより守り継がれ、愛着ある地域のシンボルとして次世代に紡いでもらいたい景観資源である。

場所 : 池尻町
テーマ : まち
指定年度 : 平成30年度
指定番号 : 63
撮影時期 : 8月上旬





60_古代の人々の営みを思い

私たちは確かめる



【応募者エピソード】

2018年5月和歌山大学岸和田サテライトと岸和田市図書館との共同企画の「久米田を編集する」という地域の情報をオープンデータとして公開し、地域活性化につなげていくイベントが久米田寺付近で行われた。久米田寺付近は古代から人々の営みが行われ多数の古墳がある。久米田寺のすぐ隣の風吹山古墳の上から市内を見渡すと今の私たちの営みが広がっていた。人の営みをつないでいる景観を実感した瞬間だった。(76歳/男性)

【発掘委員会講評】

久米田寺に隣接する久米田公園内に貝吹山古墳、風吹山古墳、無名塚古墳があり、その周辺にもいくつかの古墳が存在することから、その地域は久米田古墳群と言われ、大阪府の史跡名勝にも指定されている。小高い古墳の上に立ったとき、古代のロマンと現代との結びつきが感じられた。これからも後世に語り継いでもらいたい。

場所 : 池尻町
テーマ : ひとの営み
指定年度 : 令和2年度
指定番号 : 77



61_久米田寺千本搗き



【応募者エピソード】

新しい年の始まりの風物詩とも言える久米田寺の千本づき。たくさんの細い杵でお餅を搗く様子は家庭とは違った趣きがあり、地域の人たちの中で受け継がれてきた営みとしてテーマにぴったりだと思いました。（44歳／女性）

【発掘委員会講評】

久米田寺では、お正月の恒例行事として「千本搗き」が行なわれている。多くの子ども達が、一斉に棒状の杵で餅を持ち上げる様子はとても楽しげでまた誇らしげでもある。歴史あるお寺での行事は、地域の子ども達にとっても歴史を感じられ、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせる景観になっている。

新市街地住宅景観区

場所 : 池尻町
テーマ : ひとの営み
指定年度 : 令和2年度
指定番号 : 78
撮影時期 : お正月（1月3日）





62_田を潤す久米田池



【応募者エピソード】

写真は、久米田池で、手前の「満水標」の頭が約50センチ見えています。これらの水が、久米田池下流に広がる田を潤し、米を育てた証です。（60歳／男性）

【発掘委員会講評】

世界かんがい施設遺産などに指定されている久米田池は、僧行基によって造られてから何百年もの期間、田を潤し米を育て、人々の生活を支えてきた池である。今も昔も変わらず、地域の人々の農の営みを支えており、今後も生活景として地域に馴染んで語り継がれていくことを期待する。

新市街地住宅景観区

場所 : 池尻町
テーマ : ひとの営み
指定年度 : 令和2年度
指定番号 : 79



63_久米田寺の多宝塔



【応募者エピソード】

とても歴史のある素敵なお寺です。遠くに住んでいるお友達もよく来ると言っていました^^高校の日本史の授業でも少し勉強し、興味を持って訪れたことが久米田寺と出会ったきっかけです。

(17歳/女性)

【発掘委員会講評】

久米田寺は、春には桜、秋にはだんじり、お正月にはひとの営み景観でも指定されている「千本搦き」など、行事があるときには賑わいを見せるが、普段は静かな佇まいである。池を見守るように鎮座しているこの多宝塔には、京都の東寺より仏舎利が足利直義により奉納され、遺存していた仏舎利をお祀りしているという。春の陽光と岸和田の歴史を色濃く感じさせる景観になっている。

新市街地住宅景観区

場所 : 池尻町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 98





64_世界かんがい施設遺産の久米田池



【応募者エピソード】

馴染み深い久米田池が、平成27年に世界かんがい施設遺産に登録されました。子供の頃は池の水が引いた際にザリガニ取りをした記憶があり、今も多くの鳥の姿が見られます。ため池ならではの池底への階段もあります。昔は周辺に田んぼも多くあり、世界かんがい施設遺産に登録されたことは、灌漑施設として地域の大切な役割を担っていたのだなと改めて感じるきっかけになりました。

(39歳/男性)

【発掘委員会講評】

久米田池は、長い歴史や多くの人々によって守られてきたことなどから2015年に世界かんがい施設遺産に登録された。もともと3つの樋から下流の田畑へ配水してきたが、今はそのうちの1つが役目を終えてモニュメントとして保存されており、ウッドデッキから近くで見ることができる。これからも地域住民に愛される景観として継承してもらいたい。



新市街地住宅景観区

場所 : 池尻町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 99





【応募者エピソード】

黄金塚住宅内に小金塚古墳があります。

古墳としての規模も小さく、交差点の中に納まっていますが、市の指定史跡に指定されています。（50歳／男性）

【発掘委員会講評】

黄金塚住宅にある交差点には、カップケーキを想像させるかわいらしい形の古墳が納まっている。この古墳は、市指定史跡となっており、小さいながらも黄金塚住宅のランドマークとして地域の人々の愛着や親しみが感じられる。これからも地域住民に愛される景観として大切にしてもらいたい。

場所 : 岡山町
テーマ : 歴史・文化
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 100





66_久米田寺行基参り



新市街地住宅景観区

【応募者エピソード】

寺に13 台のだんじりが入る
日本でも珍しい祭り

(57 歳/男性) R4応募

【発掘委員会講評】

僧・行基は、干ばつに悩む農民のために久米田池を造り、それを管理する施設として久米田寺が造られたとされており、農業用水として地域に恩恵を与えている。境内の奥にある開山堂には、静かに行基菩薩像が祀られている。「行基参り」はその功績をたたえて農業豊作の祈願と感謝をするためのもので、昔からの伝統行事であり、今後も受け継がれていかれるであろう。

場所 : 池尻町
テーマ : 特別編
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 103
撮影時期 : 10月祭礼



67_玉ねぎの碑



【応募者エピソード】

府道岸和田港塔原線沿いにひっそりと佇む玉ねぎの碑。地域の人々により維持され、傍らにはきれいな桜が咲いていました。（48歳／男性）H30応募

【発掘委員会講評】

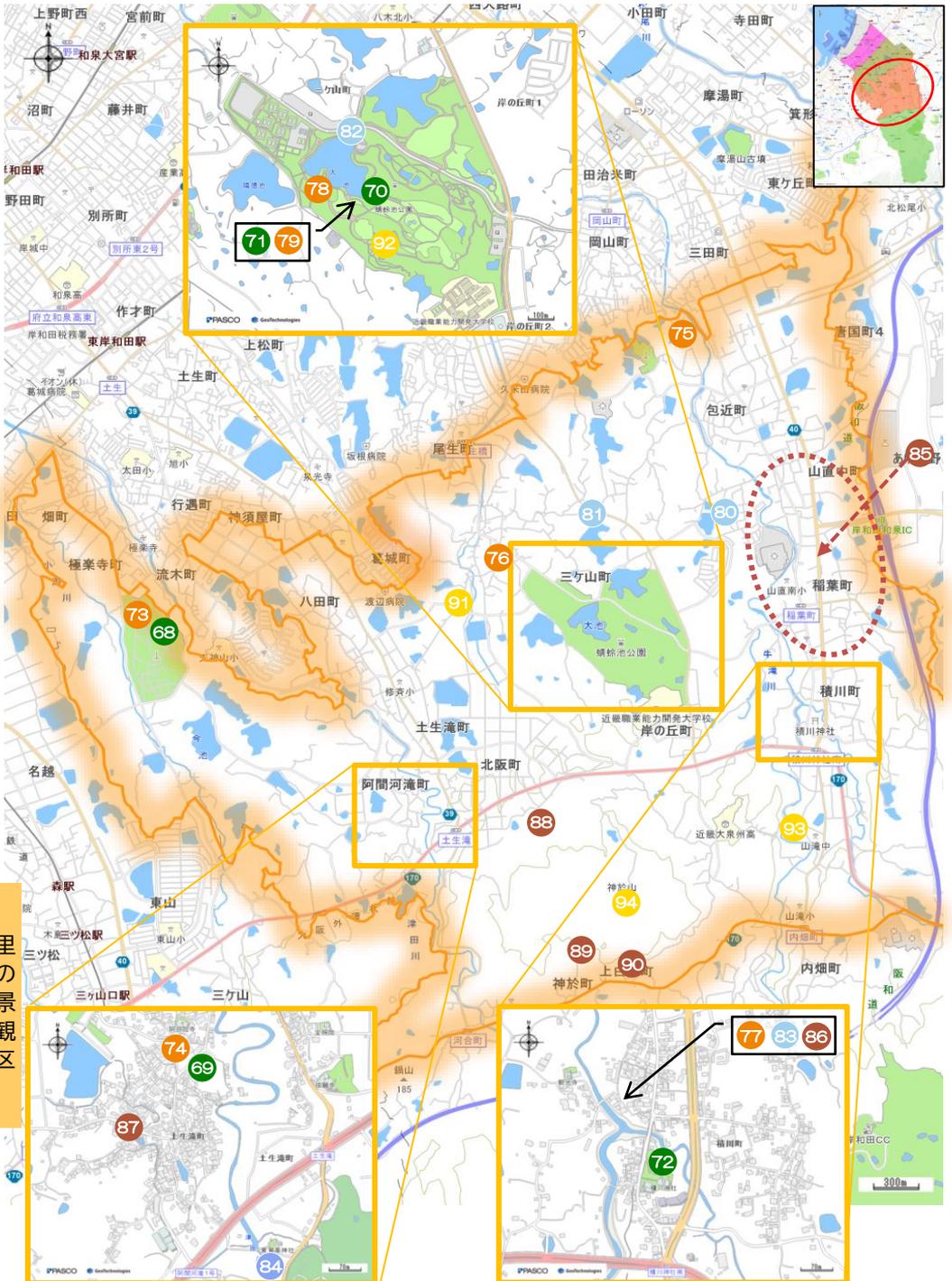
明治15年頃、神戸の外国商館のアメリカ人より玉ねぎを譲り受け、玉ねぎ栽培をはじめた坂口平三郎の顕彰碑。以後、泉州一帯で玉葱栽培が盛んとなり、泉州の名産品となった。管理が行き届いていないのが残念であるが、背景となる倉、桜の木、水田、民家等との関係も良く、岸和田の歴史と文化を今に伝える景観である。

新市街地住宅景観区

場所 : 土生町
テーマ : 特別編
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 104



里の景観区



里の景観区

番号	タイトル	場所	テーマ
68	流木墓園の桜並木	流木町	樹木
69	奥家の棕（景観重要樹木）	阿間河滝町	樹木
70	蜻蛉池公園のヤナギ	三ヶ山町	樹木
71	蜻蛉池公園のメタセコイア	三ヶ山町	樹木
72	積川神社の棕と楠	積川町	樹木
73	流木墓園桜並木みち	流木町	みち
74	阿間河滝の阿弥陀寺への参道	阿間河滝町	みち
75	包近楠本神社もも花参道	包近町	みち
76	福田町のまちなみ	福田町	みち
77	牛滝街道（積川町）	積川町	みち
78	バラの小道（蜻蛉池公園）	三ヶ山町	みち
79	メタセコイアの小道（蜻蛉池公園）	三ヶ山町	みち
80	山直中町 錦秋のスリバチ池	山直中町	水辺
81	田治米町 ポピー咲く七ツ池	田治米町	水辺
82	蜻蛉池公園大池の水鏡	三ヶ山町	水辺
83	積川町 水路のある古の町並み	積川町	水辺
84	意賀美神社 雨降りの滝	土生滝町	水辺
85	日没前（山直南地区） ※山直南地区内からの眺望	山直南地区	まち
86	積川町 元本街道のまちなみ	積川町	まち
87	阿間河滝町 長屋門坂	阿間河滝町	まち
88	夕暮れの北阪	北阪町	まち
89	神於寺の参道	神於町	まち
90	白原峠の星祭り（東葛城にて）	上白原町	まち
91	神於山	尾生町	眺望
92	蜻蛉池公園の展望台	三ヶ山町	眺望
93	内畑町の橋から	内畑町	眺望
94	神於山の展望台から	神於町	眺望

里の景観区



68_流木墓園の桜並木



【応募者エピソード】

◆先祖のお墓が、流木に有るせいでしょうか、小さい頃から、よく、両親に連れて行かれました。車が余り通らないのも良いですね。静かで広い公園のようです。墓地との仕切りは無いですが、そんなことは気にしない。青々した、芝生では無い、遊具も無い、でもこの広さがいい。春には、桜並木が大変綺麗。何処の観光地にも負けない。ここは、墓？と疑う位、賑やかになる。お弁当を広げる場所がないと、ドンドン、先に進みついには、よそ様の、お墓の階段に、腰を下ろす始末本当に面白い光景です。この春も、弁当を持って出かけます。
(50歳/男性)

◆トンネル桜並木、岸和田では一番長くすばらしく美しいヤッホー。岸和田の桜名所、いったい幾つあるんだと、岸和田住民になって最後に探し行きた名所がここだったと、いまに思うよ。墓地は今のところ、関係ないと思いつつ、桜咲くとつい、足が向き、心がはじく。ここで味わった、華吹雪は忘れられない絶景、髪の毛染まり、顔花けしよう、心ウキウキ、お手手バンザイ、足さん浮足、通り抜け。(73歳/男性)

【発掘委員会講評】

流木墓園の桜並木は誰もが自由に通り抜けることができ、春には豊かな桜のトンネルをつくる。開花時期にはカメラを片手にたくさんの方が花見を楽しんでいる。また季節を問わず、桜並木は先祖の墓参りに訪れる多くの人の心に残り、世代を超えて岸和田市民に親しまれ愛されている。普段は鎮魂の場として、また桜の開花時は行楽の人々でにぎわう深く市民生活に溶け込んだ景観である。

場所 : 流木町 指定年度 : 平成25年度
テーマ : 樹木 指定番号 : 9



69_奥家の棕（岸和田市景観重要樹木）



【応募者エピソード】

古い街並みと坂道と石垣の街、阿間河滝が好きで時々散策に寄っている。その中でも特に好きなのが、この奥家の棕の樹。樹齢何百年の風格を漂わせている。大きな堅い樹皮に耳を寄せると心臓の鼓動のような音が聞こえる。太い幹や、逞しい根に触れていると力を頂けるようだ。岸和田の隠れた、パワースポットだ。（67歳／男性）

【発掘委員会講評】

葉が茂り苔が生えていて、より迫力があつた。阿間河滝町は岸和田の中でも、古くから石垣が連なる特徴のある町並みを形成しており、棕の大木が旧家の門前に堂々と枝を伸ばす姿は、岸和田の歴史的・文化的な景観を特徴づけている。

場所 : 阿間河滝町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成25年度
指定番号 : 10



里の景観区



70_蜻蛉池公園のヤナギ



【応募者エピソード】

水中に生きる樹木、白鳥やカモ類、季節ごとに飛来する鳥たちが、シロヤナギが覆う水面で、はしゃぐ、一緒に遊ぶ人の子供たちも紫外線を避けられ、楽しく遊べる、感謝の樹木である。この樹木を取り入れた担当者の気持ちが、わたしのところに伝わってくる。鳥さんの喜びも心に響く、いつまでもいつまでも、このシロヤナギが生き生きとし、私たちが喜ばせてくれることを、シロヤナギさんに祈願する。蜻蛉池公園は鳥たちと、いつまでも人々の心に残る極楽の郷である。（73歳／男性）

【発掘委員会講評】

ヤナギの木蔭では人々が憩う光景が見られ、市民生活の中で親しまれ愛されている水辺の景観となっている。またヤナギ付近では水鳥が泳ぐ光景が見られるなど、おだやかな自然を感じる樹木景観である。

里の景観区

場所 : 三ヶ山町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成25年度
指定番号 : 11



71_蜻蛉池公園のメタセコイア



【応募者エピソード】

「人は、木に寄り添うと心が安らぐ」と言われますが、木と、その木に寄り添っている人を眺めているだけでも、やはり安らぎを覚えるということを発見(?)させてくれた木です。高い位置からの眺め、しかも落葉の季節でない実感することができませんが。

(61歳/男性)

【発掘委員会講評】

応募された写真は公園の高台から撮られたものだが、近くから見ても周辺の樹木とよく調和している。公園内の樹木で、地域のシンボルとなるものではないが、蜻蛉池公園の一部として岸和田の景観を形作っている。

場所 : 三ヶ山町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成24年度
指定番号 : 12



里の景観区



72_積川神社の椋と楠



【応募者エピソード】

◆岸和田市、秋のだんじり祭で毎年賑わいます神輿とだんじり曳行の活気盛んな時や宮参りの積川神社境内に聳える（そびえる）樹木はおよそ樹齢800年のムクノキ、そして樹齢80年のクスノキなど。その他シイノキや数々大木の鎮守の森が有り、周辺には、大木を加工したベンチなど設置されている。憩いの広場で腰掛けて眺める壮観は誠に心が和みます。

（76歳／男性）

◆鳥居を挟んで大樹木。この姿に心踊らない参拝者はいないだろう。そしてその思いはここに残る、忘れられない人生、私の一生もムクノキの根元に座って、樹齢850年の歴史をここに収めたい。クスノキに登る、天まで登る力が！創造の世界に夢を見る。鳥居に覆いかぶさるクスノキの生命カームクノキに負けず、人生に目標と達成感が宿る。（73歳／男性）

【発掘委員会講評】

積川神社は1500年以上の昔、崇神天皇の時代に創立されたと伝わり、本殿は文化財保護法による重要文化財に指定されている。また前面は旧牛滝街道であり、鳥居を挟んでそびえる椋と楠は、神社の厳かな景観を形成し、多くの市民の目に触れる。また、積川神社は近隣住民にとっては10月祭礼などで馴染み深く、椋と楠もふるさとの原風景となっている。



里の景観区

場所 : 積川町 指定年度 : 平成25年度
テーマ : 樹木 指定番号 : 13

73_流木墓園桜並木みち



【応募者エピソード】

流木墓園の桜を見て主人と蕾が固いとか満開の時のいいとか話しながら歩きました。しかし今では想い出の道、今年も変わらず美しく咲いていると一人で花を見て通ります。花の時はとても慰められる道です。
(73歳/女性)

【発掘委員会講評】

ここに残る樹木として景観資源に指定した流木墓園の桜並木は、春には満開の桜のトンネルがカメラを持った多くの人々を楽しませている。墓参りに訪れる人々の故人との思い出や家族で行楽に訪れた時の記憶など様々な思いの詰まったこの桜並木みちはここに残るみち景観資源でもある。

場所 : 流木町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 27



里の景観区



74_阿間河滝町の阿弥陀寺への参道



【応募者エピソード】

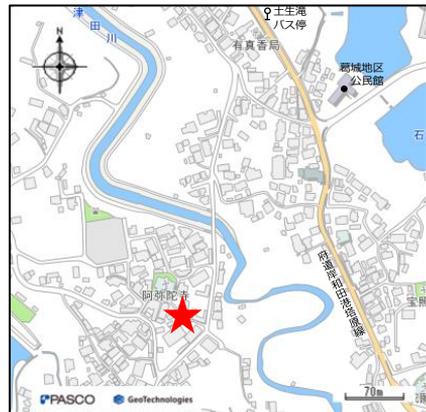
古い町並みの残る山手の街・阿間河滝地区。その町並みでも街道筋から阿弥陀寺へ抜ける参道は坂道と石垣、古い板壁の建物がコントラストを成して、このエリアを散策する時の1つのハイライトです。(52歳/男性)

【発掘委員会講評】

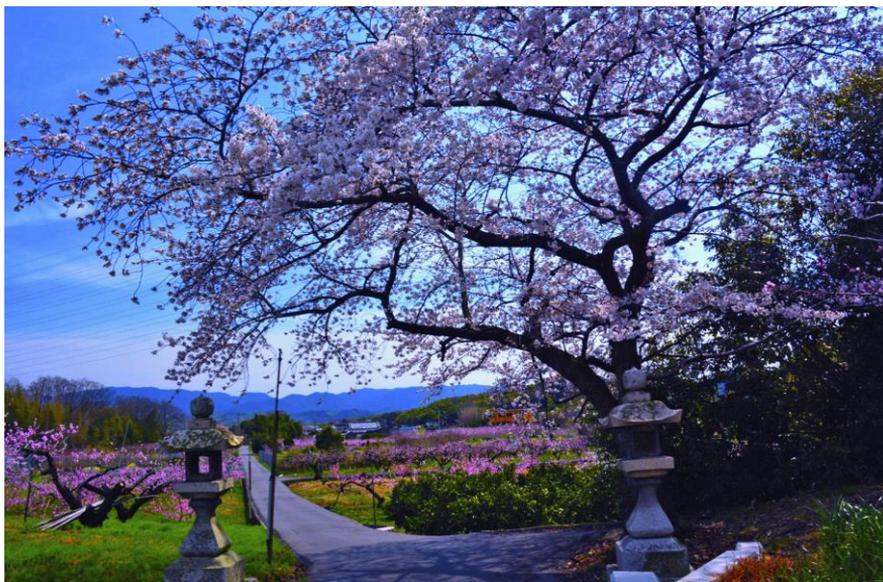
道の沿道を焼杉板の建物壁面と2~3mの石垣に支えられた瓦葺の漆喰塀の間を縫う歴史的な情緒あふれる阿弥陀寺への参道は、古い家並みの残る阿間河滝町にあり、ここを訪れる人々の興味を引く景観が映し出されている。

里
の
景
観
区

場所 : 阿間河滝町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 28



75_包近楠本神社もも花参道



【応募者エピソード】

包近北の交差点、水道道、牛滝川の橋を渡り右へ入ると楠本神社の参道です。この道は桃畑の中をまっすぐ神社へ300m程度の桃花参道である。中ほどには素晴らしい桜の木が灯籠とともにそびえている。4月中旬から5月上旬にかけてこの道は花に彩られるよ。又、桃畑はタンポポ、ツクシさんがさらに春を謳歌し、この道の楽しさ輝かしさを描いてくれます。小さな道ですが春をうっとりさせてくれますよ。さらに桃さんを食いたい気分が一段と増しますよ。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

楠本神社の参道となるこの道沿いには桃畑が連なり、灯籠横の桜が存在感を示し、両者が融合したまったりとした空間を形成しており、その先にある社寺林へと続くほのぼのとしたみち景観である。

場所 : 包近町
テーマ : みち
指定年度 : 平成26年度
指定番号 : 29



里の景観区



76_福田町のまちなみ



【応募者エピソード】

短い街並み街道だが、私の心を揺さぶった古民家の街並みである。道の両側に建ち並ぶ町家は瓦葺の屋根で石垣造りの地盤に漆喰の塀壁、蔵造り、木製の引き戸壁、心地よい素朴なまち、城下町の田舎暮らしの良さが、心と目にしのんでくる、このまちの歴史・文化・くらしに触れてみたいくなる轟川の宝町と感じられた。(75歳/男性)

【発掘委員会講評】

福田町の集落には石垣積みの上に築かれた塀や焼杉板や漆喰を施した門長屋など古い伝統的な様式の家屋が多数受け継がれており、歴史街道を思わせるような趣のある坂道の景観が形成されている。

場所 : 福田町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 30



77_牛滝街道 (積川町)



【応募者エピソード】

◆岸和田に自然豊かで静かな場所があるとは知りませんでした。新しい岸和田のイメージができて、岸和田のことをもっと知りたいと思えた一枚です。(23歳/男性)

◆日差しが強く厳しい暑さの日でしたが、水路と日影が続く気持ちの良い道でとても涼しく歩くことができました。趣のある建物と塀とが一層みちの雰囲気を作りだしているなと感じました。天気の良い日だったのもあり、どこを撮っても絵になるような道だと感じました。(21歳/女性)

【発掘委員会講評】

歴史の道・牛滝街道沿いの積川町集落のなかに旧造り酒屋の酒蔵や主屋が建ち並ぶ情緒あふれる閑静なまち並みそして脇を流れる水路や土壁の塀が、より一層の風情を増しており、とても魅力的な景観を形成している。

場所 : 積川町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 31



里の景観区



78_バラの小道 (蜻蛉池公園)



【応募者エピソード】

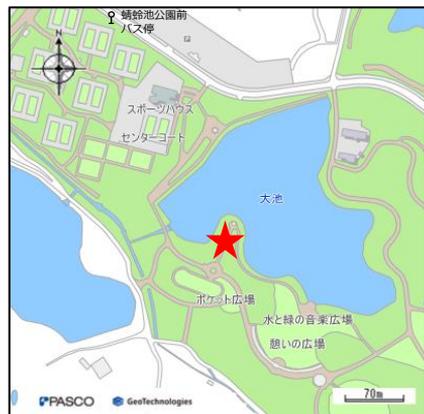
蜻蛉池公園は岸和田市に38年前に引っ越して以来、バラ公園の時代から毎年何回も訪れていますが、やはりバラの咲く時期が最も華やかで印象的です。その内でもアーチをくぐって階段状に続く小道はいつ訪れても心に残ります。(71歳/男性)

【発掘委員会講評】

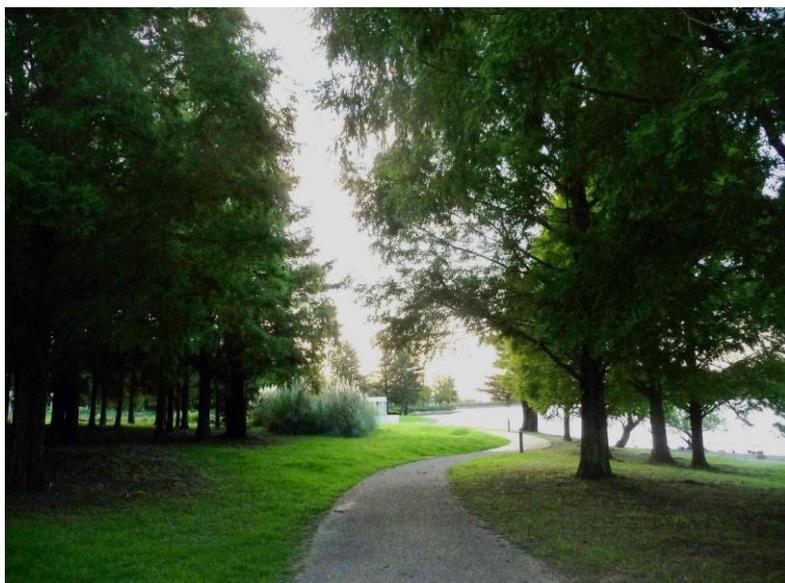
本市の花である「バラ」が多く植えられた「蜻蛉池公園のバラ園」は、地域のシンボルにもなり、特に春・秋シーズンには、多くの人々が訪れる。バラの香りが漂うなか、バラのアーチをくぐると、道沿いにバラを配した先の池岸には、ガセボ（西洋風あずまや）があり、そして、白鳥の泳ぐ大池の風景が広がっている。

里
の
景
観
区

場所 : 三ヶ山町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 32



79_メタセコイアの小道 (蜻蛉池公園)



【応募者エピソード】

蜻蛉池公園は、岸和田市に38年前に引っ越して以来、バラ公園の時代から毎年何回も訪れています。やはりバラの咲くころは華やかですが、もうひとつ心に残るのはメタセコイアの巨木の小道です。冬に葉を落とした枝に春先の新芽が出るころの力強さ、真夏の暑さにも負けない濃い緑の堂々たる姿も大好きです。(71歳/男性)

【発掘委員会講評】

ここに残る樹木として景観資源に指定したメタセコイアは、大池までの園路に配置され、春夏には緑陰を秋には鮮やかな紅葉を、そして冬には落葉した幹枝が空に向かって伸びる雄大な樹形をくっきりと表わし、訪れる多くの方々に魅了する景観が形成されている。

場所 : 三ヶ山町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 33



里の景観区



80_山直中町 錦秋のスリバチ池



【応募者エピソード】

秋晴れの朝日に輝くスリバチ池。色とりどりの紅葉と緑の木々が青い池に映り、一幅の絵画を見るようでした。しかしながら岸和田丘陵地再開発事業の工事が間際まで迫り、環境の変化による要因で、この光景が見られなくなるのではとの一抹の不安も覚えた。これからも残ってほしい景観である。（73歳／男性）

【発掘委員会講評】

錦秋のスリバチ池は、色とりどりの木々が水面に映り、幻想的な美しさが際立ち、四季折々の趣が感じられる水辺である。周囲の桃畑や祠など地域の人々に大切に守り継がれてきた景観は、水辺の魅力をより一層引き立たせるものである。今後、隣接するゆめみヶ丘のまちづくりが進み、新しいまちなみがこの池を引き立てるよう調和を図りつつ、そこに暮らす住民にも愛される景観として期待したい。

里の景観区

場所 : 山直中町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成29年度
指定番号 : 43



81_田治米町 ポピー咲く七ツ池



【応募者エピソード】

蜻蛉池公園に隣接する七ツ池。この池は蜻蛉池と共に田治米町の池である。春の新緑、秋の紅葉も美しいが、ゆったりとした池面に花が映えるこの季節も素晴らしい。

(73歳/男性)

【発掘委員会講評】

山並みと四季折々の季節が感じられ、開放的な眺望を満喫することができる水辺である。秋には、紅葉した木々が湖面を美しく彩っており、周囲の農地と調和した豊かな自然を感じながら、静寂の中に小鳥のさえずりが心地よく聞こえ、神於山や和泉葛城山系などの遠景も楽しめる景観である。

場所 : 田治米町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成29年度
指定番号 : 44



里の景観区



82_蜻蛉池公園大池の水鏡



【応募者エピソード】

◆とんぼ池公園のバラを撮影に、すこし時期が早いかなあと思いつつ出かけました。早朝からお天気もよく気持ちの良い朝で風もなく、大地に目がとまりました。さつきと新緑がきれいに写し出されてしばらくの間癒されていました。この水辺景観は誰にも観ていただきたい場所だと思います。(62歳/女性)

◆四季折々の自然を手軽に感じることができる蜻蛉池公園ですが、お勧めは大池の東側池畔で、季節は晩冬です。初めてここを訪れた知人が、「トンボの生態が観察できるような、趣のある水辺が整備されているので『蜻蛉池公園』なのですね。」と勝手な解釈をしていましたが、池とはコンクリートと金網に囲われた所というイメージがあったからでしょうか。晩冬には、この時期ならではの美しい光、冬枯れした樹木などの佇まい、残り少なくなった冬を楽しんでいるような多くの水鳥たち…と興味が尽きません。(65歳/男性)

【発掘委員会講評】

蜻蛉池公園内の大池周辺は、夏はさつきの花や新緑、冬は落葉した樹木や透き通るような美しい光など四季折々の自然を手軽に感じることができる水辺である。良く手入れ整備された樹木や花々、秋に飛来する水鳥が季節ごとの魅力的な表情を作り出しており、市民に愛される水辺となっていると感じられた。今後も、豊かな自然が身近に感じられる場所としてどなたにも観ていただきたい水辺である。



里の景観区

場所 : 三ヶ山町 指定年度 : 平成28年度
テーマ : 水辺 指定番号 : 45

83_積川町 水路のある古の町並み



【応募者エピソード】

稲葉町交差点から蜻蛉池公園に曲がると牛滝川にかかる橋があります。その橋から牛滝川に沿って菅原神社のほうに曲がると山間の森閑とした雰囲気です。自転車で市街から牛滝山に上がるので自動車では通れない道を走ろうと思って牛滝川から住宅を抜けていく路地を走っていると、突然古い町並みが現れました。聞くところによると古から都に繋がる人が出たり、近年ではお酒の蔵元が酒蔵を構えたりといったところだとか。酒造りもできたところなのか、水路を流れる水が市街からさほど離れていないのに綺麗に澄んでいました。

(53歳／男性)

【発掘委員会講評】

積川町にあるこの水路は、周辺の旧家の町並みと一体的な景観を形成しており歴史の風情を感じさせる水辺である。ゴミひとつなく良好に維持管理がなされていることから、この水路は地域住民にとって心を癒す水辺として親しまれているように思えた。現在まで農業用水路として、地域の人々に大切に守られ続けている。美しいまちなみと共に将来に継承すべき水辺である。

場所 : 積川町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成28年度
指定番号 : 46



里の景観区



84_意賀美神社横 雨降りの滝



【応募者エピソード】

意賀美神社は大阪府自然環境保全地域に指定され、社叢は岸和田市の天然記念物に指定されています。常緑広葉樹林で林床植物が見られる典型的な暖地性照葉樹林の姿を残しています。ホルトノキやタイミンチバナが植生しています。津田川には木々の間から雨降りの滝があります。この滝は濃い緑の中で大変神々しく見え、この地域の水に関する信仰と深い関係があることが想像できます。黒いハグロトンボがたくさん飛んでいました。

(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

雨乞いの神として地域の人々に信仰されてきた意賀美神社の雨降りの滝は、深緑の中で見ると大変神々しく、歴史の風情と豊かな生態系を感じさせる水辺である。意賀美神社の境内は、夏でもひんやりとしており、日常から隔離された別世界のようなであった。人の手がほとんど入らない自然のままの滝は地域固有の魅力をも効果的に伝えており、今後も多くの人に知ってもらいたい水辺である。

場所 : 土生滝町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成28年度
指定番号 : 47





【応募者エピソード】

田植えの頃お天気の良い日は最高のロケーションです。ずっとこの景観は失われずに続いてほしいと願っております。（64歳／女性）

【発掘委員会講評】

丘の上から見渡す山並みや集落から人々の生業が感じられ、夕日と水田のコントラストが印象的なまち景観である。昼間に見える街並みが、日没とともに影となり、稜線のシルエットが美しいまち景観を眺望できる視点場であった。今後も地域の暮らしや営みが魅力的に伝わるまち景観として維持してもらいたい。

場所：山直南地区

テーマ：まち

指定年度：平成30年度

指定番号：65

※個人地内からの撮影のため、詳しい場所は非公開としています。



86_積川町 元本街道のまちなみ



【応募者エピソード】

積川神社から少し海側に行き、細い路地を左に入ると元信貴本家酒造の工場と本宅があった通りに出る。狭い道だが昔はここが本街道だったそうです。今にも杜氏さんたちの声が聞こえてきそうな佇まいです。ここで使われていた酒造の際に米を蒸した「甑釜（こしががま）」という大きな大きな鉄の鍋が岸和田城の城門に入ってすぐのところに展示されています。当時のままの長く続く塀とともに、酒造りの盛んだったころがしのばれます。（63歳/女性）

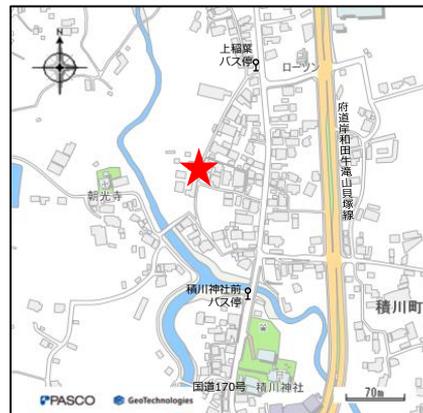
【発掘委員会講評】

時を経て受け継がれてきた土塀と門長屋は、酒蔵として賑わっていた往時を偲ばせるまち景観である。これまでもここに残る景観資源として指定され

ており、それぞれの景観要素が織り成す風情は評価されるべきものである。積み重ねられた歴史の重厚さと静寂のなかで、せせらぎが醸し出すまち景観を、これからも守り続けてもらいたい。

里の景観区

場所 : 積川町
テーマ : まち
指定年度 : 平成30年度
指定番号 : 66



87_阿間河滝町 長屋門坂



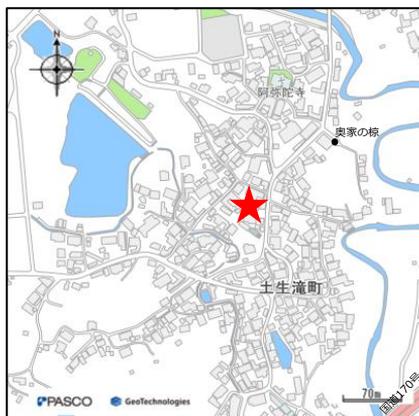
【応募者エピソード】

一見武家屋敷街のような長屋門の街並み。道路の舗装を工夫すれば時代劇のロケ地として売り出せそうですが、岸和田市には他にも積川旧牛滝道などロケ地になりそうな道が沢山ありますね。（71歳／男性）

【発掘委員会講評】

坂のあるまちとして知られる阿間河滝町を代表する長屋門は、自然の地形を活かしたまちなみを象徴するまち景観である。人々の暮らしが息づくまちなみは、郷土への愛着と誇りが感じられ、敬意を抱かずにはいられない。石垣と階段状に建てられた長屋門、伝統的なしころ建て母屋など、地域のアイデンティティをこれからも守り続けてもらいたい。

場所 : 阿間河滝町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 67



里の景観区



88_夕暮れの北阪



【応募者エピソード】

あまり知られていない神社だと思いますが、すごく景色がよく夜景も見ることができるので自分だけのお気に入りの場所です。また、どういう経緯でこの神社が建てられたのか知りたいです。そして近くには同じく景色のいい北阪町観光農場があり秋から冬にかけてみかん狩りをするので少しでもPRになれば嬉しいです。(21歳/男性)

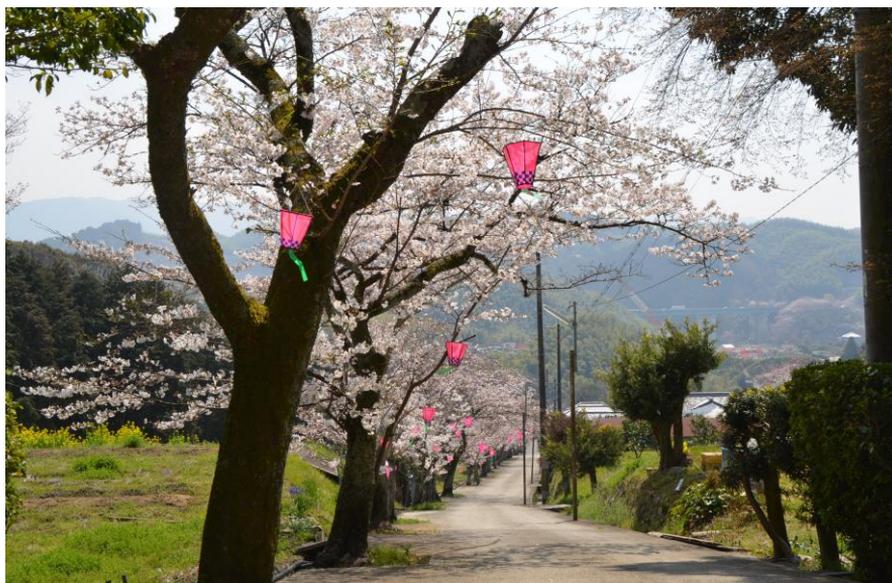
【発掘委員会講評】

知る人が少ないであろう北阪八幡宮は、その境内から望む大阪湾への眺望が印象的なまち景観である。参道を彩る植栽や境内地は、綺麗に管理されており北阪の人々の親しみと愛情が感じられる。地域の人々に守り育まれたこの風景を、多くの人々に知っていただきたい。

場所 : 北阪町
テーマ : まち
指定年度 : 令和元年度
指定番号 : 68



89_神於寺の参道



【応募者エピソード】

神於寺に至る参道は坂道となっているため歩くと息が切れる。しかし、桜が咲く頃はその参道を見事に彩り辛い参道も美しい景観となる。そして境内からの眺望は美しくまた来たいと思わせてくれる。(48歳/男性)

【発掘委員会講評】

古くから、人々に信仰の対象として崇められている神於山の南麓にある神於寺への参道は、桜をはじめとして四季の趣きを感じる事が出来るまち景観である。参道を登ると町並みや和泉葛城山系を一望できる眺望が広がり、由緒ある寺院とともに訪れた人々の印象に残ることだろう。これからも地域とともに悠久の時を刻みつづける景観を守り継いでもらいたい。

場所 : 神於町
テーマ : まち
指定年度 : 平成30年度
指定番号 : 69



里の景観区



90_白原峠の星祭り (東葛城にて)



【応募者エピソード】

毎年の星祭り（七夕）には、岸和田市上白原町の峠頂上付近にある個人宅の横にある広場に於いて、同町から通学する生徒並びに来賓として、岸和田警察署長、学校長、毎朝の指導にあたる駐在所員、学童の見守隊の人々を呼び、世界・日本・岸和田市のこどもたちの安全や安心・まちの人々の幸せを願いの糸に託し、星祭りを行います。筆者もそのひとりとして招待を受け参加します。こころに残る景観としては是非推薦します。「学童の見守隊の息白し」「こどもらの安全いのる星祭り」赤心子（78歳／男性）

【発掘委員会講評】

集落を縦断する坂の頂上部にある広場では、地域の人々が七夕の日に色とりどりの短冊に願いを込め、笹を飾り付ける。白原峠と名付けられたこの広場には、昔から人々の営みが見られ、往時の賑わいを偲ばせる。季節に応じた取組に地域のつながりが感じられ、いつまでも継承してもらいたいまち景観である。

里の景観区

場所 : 上白原町
テーマ : まち
指定年度 : 平成30年度
指定番号 : 70
撮影時期 : 7月（七夕）



91_神於山



【応募者エピソード】

たまたま通った道で、見晴らしがよかったので思わず撮りました。神於山にはいくつかの昔話があるらしく、神秘的な雰囲気は昔も今も変わらないのかなと感じました。昔の人もこの山を大切にしてい、「神於山」という名前を付けたのかなと思いました。この景観は、世代を超えたみんなのここに残る景観だと思ったので、これからも大事にしていきたいです。（32歳／女性）

【発掘委員会講評】

神於山は、古から「神の於わす山」として、地元住民から崇拜され、里山として大切に守られている。農地整備された神於山改良区に接する道沿いからは、その神於山の全景を眺めることができ、空・雲・山と田園と組み合わせられ、穏やかでもあり伸びやかで神秘的な線形が見ることができる。普段、何気なく生活する中で、少し意識することにより、発見できた眺望景観であり、これからも地域住民に愛される景観として継承されるであろう。

場所 : 尾生町
テーマ : 眺望
指定年度 : 令和3年度
指定番号 : 86



里の景観区



92_蜻蛉池公園の展望台



【応募者エピソード】

- ◆蜻蛉池公園の展望台から下を眺めると、芝生の広場などの緑が一面に広がっており、遠くに神戸まで見ることが出来ます。ここからの景色を眺めていると、日常を忘れさせられるような気分になりました。（49歳／男性）
- ◆トンボの遊具や大芝生広場は知っている人も多いと思いますが、展望台があるのをご存知でしょうか。展望台の上からは公園の風景を360度見渡せ、天気の良い日には明石海峡大橋が見えます。（44歳／女性）

【発掘委員会講評】

蜻蛉池公園は大きな池を中心として周辺をいくつかの丘が取り囲み、老若男女問わず身近に自然と親しめ、遊具の他に、花、スポーツ、BBQも楽しむことができる。公園の奥の高台にある展望台からは、公園内の木々や池、里山の緑、市街地、大阪湾が一望でき、遠くに神戸まで見渡すことができる。まちなみとの調和や自然と共存する魅力ある眺望景観である。

里の景観区

場所 : 三ヶ山町
 テーマ : 眺望
 指定年度 : 令和3年度
 指定番号 : 87





【応募者エピソード】

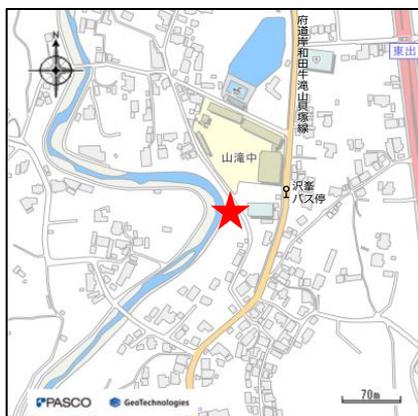
サイクリングの途中に島を発見？内畑町には牛滝川に囲まれたところがあり、島国に来たかと錯覚する場所があります。フェンスや、電柱もないので、いい景色だと思います。

(49歳／男性)

【発掘委員会講評】

山滝中学校の裏に抜ける小道の小さな橋にさしかかると突然ひらける眺望。そこには曲がりくねった牛滝川に囲まれた離島とも思わせる地形に里の風景が広がっている。川、田、畑、農地のビニールハウス、集落の家並み、里山を一体に捉えられる隠れた名スポットである。深く地元民の生活に溶け込んだ景観であり、後世へと継承し、守っていききたい景観である。

場所 : 内畑町
テーマ : 眺望
指定年度 : 令和3年度
指定番号 : 88



里の景観区



94_神於山の展望台から



【応募者エピソード】

神於山には、過去に数回登ったことがありましたが、7月中旬、サイクリングでチャレンジしました。展望台まで行くには、かなり急な坂道で自転車を降りる羽目となり、大きな荷物を押しての登山となりました。途中、手も離せない状況で耳元に虫がちよっかいをかけてくるので、自転車で来たことを後悔しましたが、展望台に上って市内を見渡した時、その苦労が吹き飛び、帰りの下り坂は爽快な気分となりました。(49歳/男性)

【発掘委員会講評】

神於山の展望台からは、広大な大阪平野が一望でき、圧巻の大パノラマを見渡すことができる。その景色からは地勢やまちの成り立ち、変化を感じられるため、岸和田を「見る」ことができる。展望台付近では比較的遅い季節まで紅葉があり、ハイキングをしながら近景や遠景を楽しめる。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りとなる景観である。



(自然緑地景観区の景観資源はP.108へ)

場所 : 神於町
テーマ : 眺望
指定年度 : 令和3年度
指定番号 : 89

岸和田市景観重要樹木の紹介

岸和田市景観重要樹木とは、地域の良好な景観を特徴づけ、市民に愛され、今後も保全が必要となるなど次の要件を満たした樹木を対象として、景観法に基づき指定するものです。

- 地域の景観を先導し又は継承し、良好な景観を特徴づけている樹木
- 歴史的、文化的な価値が高い樹木
- 市民に親しまれ愛されている樹木
- 良好な景観形成のため市長が必要と認める樹木

「ここに残る樹木景観」のなかから、「奥家の棕」「塔原町のサクラ」「吉井町のエノキ」の3本を岸和田市景観重要樹木に指定しています。市ホームページでも岸和田市景観重要樹木についてご紹介していますので、是非ご覧ください。



岸和田市景観重要樹木シンボルマーク



岸和田市景観重要樹木
はこちら



奥家の棕 (阿間河滝町) P.81



人々の営みとの共生が紡いできた
歴史的まちなみの景観

所在地：岸和田市阿間河滝町1643番地
樹種：棕木（ムクノキ）
樹齢：約300年
樹容：樹高9m 幹回り15.8m



塔原町のサクラ (塔原町) P.111



雄大な和泉葛城山を背景に
四季の移ろいを刻んできた里山の景観

所在地：岸和田市塔原町374番地
樹種：染井吉野（ソメイヨシノ）
樹齢：約45年
樹容：樹高12m 幹回り3.0m



吉井町のエノキ (吉井町) P.56



丑神と共に人々の暮らしを見守り続け
信仰の対象となって
地域に受け継いでいく風土の景観

所在地：岸和田市吉井町2丁目519番地
樹種：榎（エノキ）
樹齢：約200年
樹容：樹高16m 幹回り4.7m

番号	タイトル	場所	テーマ
95	大沢神社の杉	大沢町	樹木
96	塔原町・サクラ（景観重要樹木）	塔原町	樹木
97	相川ほたる遊歩道	相川町	みち
98	牛滝いよやかの郷散策道	大沢町	みち
99	和泉葛城山道	塔原町町	みち
100	内畑町 田んぼへの水引きの始まり	内畑町町	水辺
101	大沢町 サギも降り立つ棚田	大沢町	水辺
102	牛滝山大威徳寺 一の滝	大沢町	水辺
103	牛滝の谷にそそぐ錦流の滝	大沢町	水辺
104	東葛城小学校・幼稚園の田植え風景	河合町	ひとの営み
105	葛城踊り	塔原町	特別
106	もみいづる大威徳寺	大沢町	特別



95_大沢神社の杉



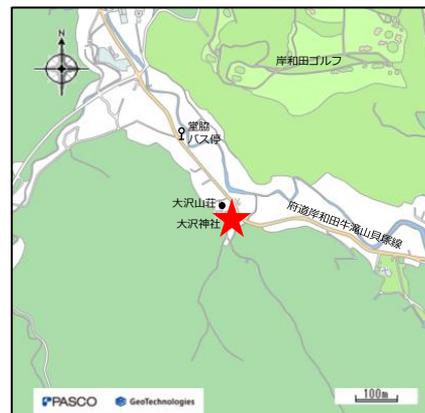
【応募者エピソード】

大沢神社の3本の杉は、岸和田にもこんなに大きな杉があったのかという驚きとともに、見る者を敬虔な気持ちにさせてくれます。『いよやかなの郷』へ訪れる際は一度立ち寄ってみて下さい。（38歳／男性）

【発掘委員会講評】

太くまっすぐな樹の幹は境内の奥まったところにあり、外の道路から簡単には見ることが出来ないが、鳥居をくぐり、奥の扉を開けると、祠を囲むように3本の杉の巨木がそびえたつ。大沢神社の杉は近隣住民が大切に守ってきたものであり、岸和田の歴史を考える上でも重要な鎮守の森の景観である。

場所 : 大沢町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成25年度
指定番号 : 14





【応募者エピソード】

塔原町の高台にある一本桜。村の共同墓地の傍らに佇み、人々の営みをひとり何年も見つめ続けている。標高が高いためか、ほかの岸和田の桜よりも1週間ほど遅咲きである。
(49歳/男性)

【発掘委員会講評】

背景には和泉葛城山があり、山の景観と調和しつつもサクラが咲く季節には山の緑との素晴らしい対比を創り出している。周辺には電線などもなく、自然景観を阻害する要因も少ない。また、周辺には農の景観が広がっており、春だけではなく夏の葉桜、秋の紅葉など周囲の里山風景を美しく演出している樹木である。

場所 : 塔原町
テーマ : 樹木
指定年度 : 平成24年度
指定番号 : 15





97_相川ほたる遊歩道



【応募者エピソード】

6月のおわりごろには、蛍が飛び交う様子が楽しめます。向かいには棚田の風景が広がり、田植えの季節にはカエルの合唱が響き渡ります。昔の岸和田にタイムスリップしたような錯覚を覚えるのどかなみちです。(71歳/男性)

【発掘委員会講評】

津田川沿いに設けられた遊歩道となっており、少し進めば棚田の風景が広がり、のどかな空間が形成されている。また、6月の蛍の飛び交う時期には多くの人が訪れ、一層魅力ある景観が創出されている。

場所 : 相川町
テーマ : みち
指定年度 : 平成26年度
指定番号 : 34

※現在、遊歩道は地元管理用通路として活用しており、一般のほたるの観賞者については立ち入ることができない状況となっているため、地図情報は掲載しておりません。

98_牛滝いよやかの郷散策道



【応募者エピソード】

春は桜、夏は木陰の清涼、秋は紅葉そして冬の雪景色と牛滝の四季は我々に自然の美を満喫させてくれます。その美を手軽に楽しませてくれるいよやかの郷の横を流れる牛滝川沿いの散策道があります。ここで四季の花、彩、そして香りに酔いしれて1日を過ごしたり、冬の雪景色を楽しんだ際は美人の湯とも言われるいよやかの郷温泉でほっこりと温まることで豊かな心地にさせてくれます。(75歳/男性)

【発掘委員会講評】

大威徳寺のすぐ横の滝から流れ出す牛滝川最上流にあたる水と緑豊かな溪流沿いに散策路が整備されている。右岸にはスギなどが繁茂する山の風景、左岸には桜や紅葉など四季の移ろいを感じさせる樹木に囲まれた「いよやかの郷」の温泉施設が隣接している。ここから臨む風景や鳥の鳴き声、温泉施設など視覚だけでなく、聴覚や知覚にもやさしく働きかける癒しが体感できる景観が繰り広げられている。

場所 : 大沢町
テーマ : みち
指定年度 : 平成27年度
指定番号 : 35

※牛滝温泉いよやかの郷は平成31年2月28日をもって終了しました。現在は名称を変え、民間事業者による管理・運営が行われています。





99_和泉葛城山登山道



【応募者エピソード】

和泉葛城山は高さ858m、塔原登山口から山頂までは徒歩2時間30分。頂上には八大竜王社、そして展望台がある。和歌山、大阪湾、関空など360度展望出来る。この山のすばらしさは、疲れを知らずに秋の紅葉、冬の雪景色、そして晩秋から初春まで、霧氷、樹氷が堪能できることでしょう。さらには 登山道の自然林「国の天然記念樹ブナ林」が、心うきうき、眼きらきら輝かさせてくれますよ。正月に帰省する、長女家族、長男夫婦と一緒にこの道を雪景色、霧氷、樹氷景色めざして登るのが我が家の楽しみで、孫たちのキャ、キャ声が登山道に鳴り響くのがこころに残る思い出です。(74歳/男性)

【発掘委員会講評】

この登山道を進む時、鳥のさえずりや緑の木立など豊かな自然を享受でき、ゴミも一切落ちておらず地域の人々の愛着を感じられた。特に山頂に近い北側斜面には国の天然記念物に指定されたブナ林が広がりその中を縫うようにボードウォークも整備されている。木々を傷めないよう配慮されたこのみちは、こうした貴重な景観へと誘っている。



場所 : 塔原町
テーマ : みち
指定年度 : 平成26年度
指定番号 : 36



【応募者エピソード】

きれいに維持管理された町中を流れる水路に澄み切った水が走り、もうすぐ田植えが始まるのかと感じさせてくれます。

(48歳/男性)

【発掘委員会講評】

古民家が立ち並ぶ集落内の水路には透き通った水が流れ、自然の恵みと人々の営みを感じられる水辺である。蔵や民家などの歴史的な風情が管理の行き届いた水路と相まって地域固有の趣が感じられる。長い年月を経て培われたこの景観をいつまでも守り継いでもらいたい。

場所 : 内畑町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成29年度
指定番号 : 48





101_大沢町 サギも降り立つ棚田



【応募者エピソード】

日本昔話に出てきそうな風景。棚田の水面が美しい。7月を過ぎれば、稲がぐんと伸び水面をあおあおと覆い、水辺が見えなくなるけれど。（53歳／男性）

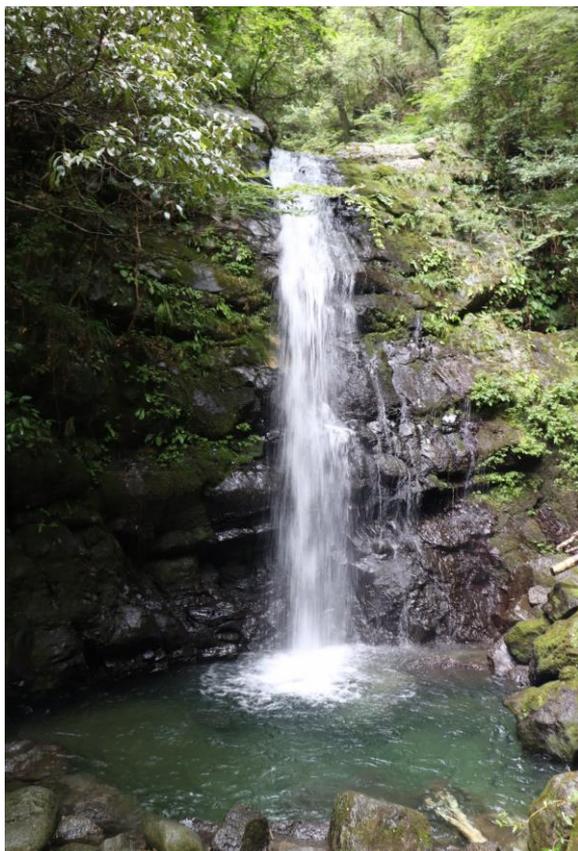
【発掘委員会講評】

周囲の山々の表情の移り変わりや稲作などを通じ、四季折々の趣を感じさせる水辺である。現地を訪れた際には、田に水は無かったが、水が張られた棚田の美しさは想像に難くなかった。また、地域を訪れる観光客にも親しまれていると感じられた。地形を活かした棚田は、地域固有のふるさと感じさせる魅力が効果的に伝わる風景を形成しており、今後まごころ和む水辺であってほしい。

場所 : 大沢町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成28年度
指定番号 : 49
撮影時期 : 7月頃



102_牛滝山大威徳寺 一の滝



【応募者エピソード】

◆私のここに残る水辺景観として、牛滝山大威徳寺奥の一の滝から二の滝までよく吟行し、滝の春夏秋冬を撮影します。寺の境内に旧山滝村（現内畑町）が生んだ有名な俳人、鈴木大林男先生（故人）の句碑があります。「滝壺を 出でずに遊ぶ 水のあり 大林男（むりお）」牛滝川の源流に近い清流のこの滝は季節ごと水辺の景色をかえ、市を代表する水辺の景観として推薦します。「山門に 瀑音 微か 一の滝」俳号 赤心子（せきしんし）

（71歳／男性）

◆この滝は家からも近くそれほど人も多くないのでよく夏に涼みに行きます。子供の頃はなんとも思っていないでしたが大人になってからいくと、その心地よさに感動しました。

（29歳／女性）

◆牛滝温泉から大威徳寺の境内を抜け、牛滝山に入るとバーベキューをする人たちの楽しげな声が遠くなり、だんだんと水の音が迫ってきて、滝が見えた。滝の前に立つと、あれだけ感じていた暑さが消え、自然の涼しさを感じる。

滝の音に耳を澄ませ、澄んだ滝壺を見ると、時間を忘れる。せつかくの素晴らしい水辺なのに人があまりおらず、より多くの人に知って欲しいと思い応募しました。（16歳／男性）

【発掘委員会講評】

紅葉の名勝として古くから知られる牛滝山大威徳寺と一体をなす「一の滝」は、和泉名所図会にもあるように歴史の重厚さを感じる水辺である。四季折々の趣と葛城修験場の静寂のなか、落差のある滝は句碑に詠まれるように迫力があり、視覚のみならず五感を楽しませてくれる。古刹とともに多くの人々に訪れてもらいたい景観である。

場所 : 大沢町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成29年度
指定番号 : 50





103_牛滝の谷にそそぐ錦流の滝



【応募者エピソード】

和泉葛城山から流れる小さな水の流れはいつしか錦となって滝になり牛滝へと流れ、人々の営みを支えてくれる。自然が多い岸和田らしい景観です。

(48歳／男性)

【発掘委員会講評】

錦流の滝は、古くから岸和田を代表する景観として、岸和田八景（小川翠村）にも描かれている水辺である。苔むした岩場を縫うように流れる川は、まさに錦の様な美しさである。渓流沿いを散策し、緑豊かな自然を楽しみながら出会うことができる景観である。

場所 : 大沢町
テーマ : 水辺
指定年度 : 平成29年度
指定番号 : 51



104_東葛城小学校・幼稚園 (東葛ふれあいファーム) の田植え風景



【応募者エピソード】

東葛城小学校・幼稚園では、地域のJAさんと共同し、東葛ふれあいファームでの農業体験が行われている。東葛ふれあいファームでは稲や玉ねぎ、サツマイモなどの作物を育てている。子どもたちはふれあい委員さんやJAの職員の方から、植え付けや収穫について教えてもらう。収穫された作物は、給食としていただいたり、学校に関係のある施設にもっていったりし、活用されている。児童にとって農作業を体験することや食について考えることは、食育の一環となっている。東葛ふれあいファームは学校・園と地域をつなぐ場となっている。6月の田植え体験の様子である。現代の子どもにとって田んぼの中に入り、苗を植え付ける機会は多くない。子どもたちにとって、足から伝わる感触はとても新鮮な様子である。子どもたちの賑やかな声が地域にひろがる。学校と地域の結びつきを感じる風景である。

(62歳/男性)

【発掘委員会講評】

神於山の麓にある農地の一角に「東葛ふれあいファーム」がある。農業体験は非常に良い取り組みで、子ども達にとっても貴重な体験であり、いい思い出となるだろう。学校と地域の繋がりが感じられるひとの営み景観である。

場所 : 河合町 指定年度 : 令和2年度
テーマ : ひとの営み 指定番号 : 80
撮影時期 : 6月頃 (田植えの時期)





105_葛城踊り



【応募者エピソード】

国、及び各地方自治体、全国津々浦々の集落も少子高齢化により、今や限界自治体や、集落が広がりつつある。これに伴い、古くからその地域・集落に伝わる伝統芸能も、衰退、また消えゆく運命のものもある。当市の、葛城山麓の真下にある「塔原町」（戸数三十五戸）に伝わる「葛城おどり」無形文化財を紹介したい。盆おどりの一つで、毎年八月十四日、町の中心地の「弥勒寺」の境内に於いて、音頭（車おどり・大山おどり）に合わせ、横笛、舞人は、稚児が花笠を被り、鼓を打ち鳴らし、おどるのである。最盛期は、稚児も十数人居たという。現在は、僅か三名と危機。保存会により、その保存に必死ということである。稚児が跳ね鼓やさしき 笠おどり 俳号 赤心子（79歳/男性） H31応募

【発掘委員会講評】

葛城踊りは、和泉葛城山頂に鎮座する八大竜王の氏子である山麓の五か村が、雨乞いや降雨に感謝するために奉納した踊りと言われている。コロナ禍で中止となっていたが、2022年、3年ぶりに葛城踊りが奉納された。美しい衣装を身にまとった子供たちが、囃子や笛に合わせて太鼓を打ち、踊る姿は後世に残したい地域固有の魅力を感じさせる景観である。



場所 : 塔原町
 テーマ : 特別編
 指定年度 : 令和4年度
 指定番号 : 105
 撮影時期 : 夏 (8月14日)



【応募者エピソード】

昨年岸和田市のイベントで訪れたときに撮った写真です。この角度から見たり写真を撮ったりする人が多い気がします。岸和田市にずっと住んでいますが、紅葉の時の大威徳寺に初めて来ました。まさに岸和田市の紅葉の名所ですね。秋の紅葉はもちろんきれいです。夏も涼しくて気持ちいいです。市内外問わず、たくさんの人に知ってもらいたいと思いました。(22歳/女性) H30応募

【発掘委員会講評】

いくつかの滝が見られることで知られている大威徳寺は、府の名勝に指定されている牛滝山の麓にあり、国の重要文化財にも指定されている多宝塔もある。秋になると赤・黄・緑のグラデーションが美しい紅葉を写真におさめようと多くの人で賑わう。どなたにも触れていただきたい岸和田の景観である。

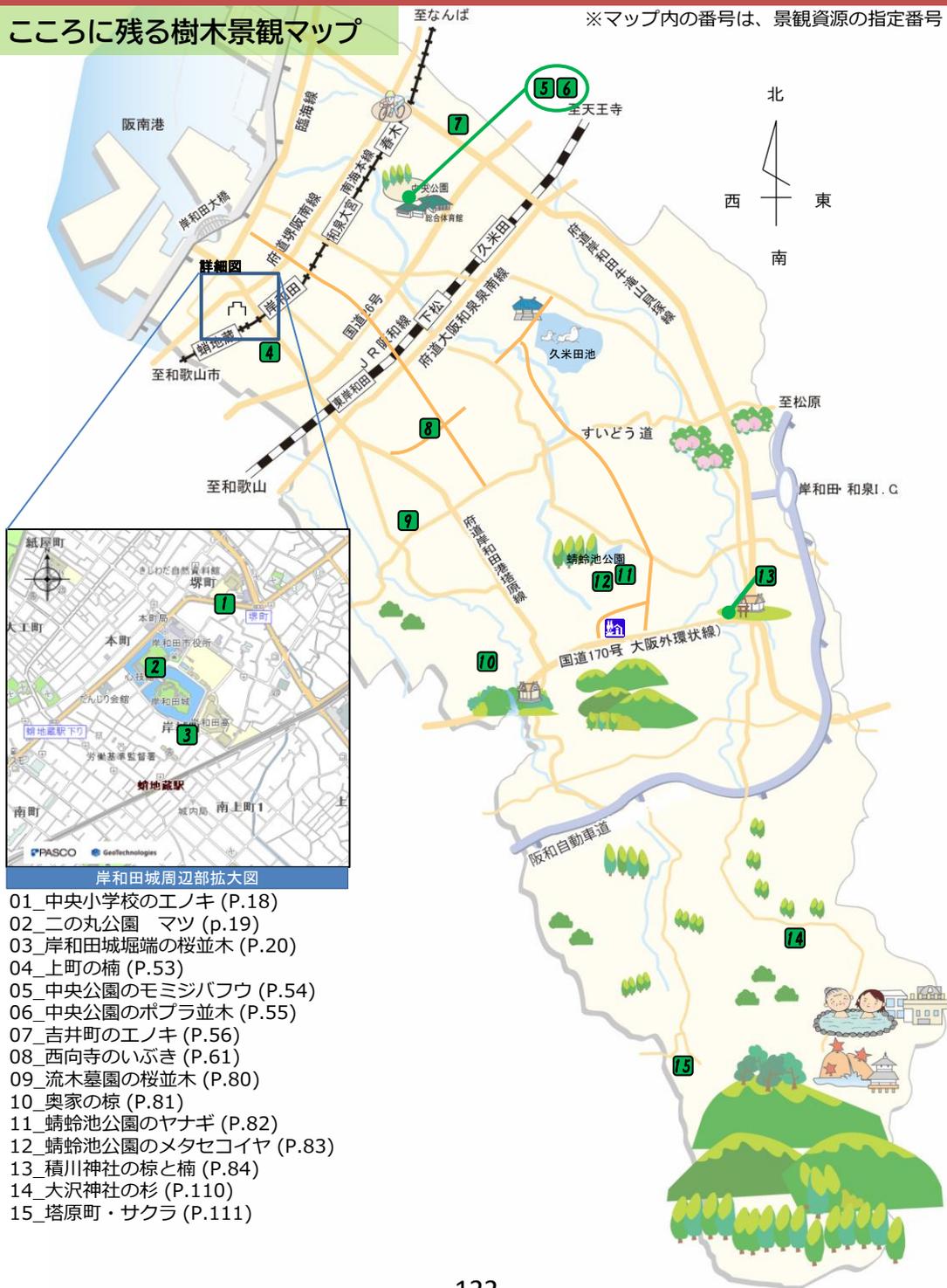
場所 : 大沢町
テーマ : 特別編
指定年度 : 令和4年度
指定番号 : 106



テーマ別「ここに残る景観資源」マップ

ここに残る樹木景観マップ

※マップ内の番号は、景観資源の指定番号



- 01_中央小学校のエノキ (P.18)
- 02_二の丸公園 マツ (P.19)
- 03_岸和田城掘端の桜並木 (P.20)
- 04_上町の楠 (P.53)
- 05_中央公園のモミジバフウ (P.54)
- 06_中央公園のポプラ並木 (P.55)
- 07_吉井町のエノキ (P.56)
- 08_西向寺のいぶき (P.61)
- 09_流木墓園の桜並木 (P.80)
- 10_奥家の棕 (P.81)
- 11_蜻蛉池公園のヤナギ (P.82)
- 12_蜻蛉池公園のメタセコイヤ (P.83)
- 13_積川神社の棕と楠 (P.84)
- 14_大沢神社の杉 (P.110)
- 15_塔原町・サクラ (P.111)

テーマ別「ここに残る景観資源」マップ

ここに残る水辺景観マップ

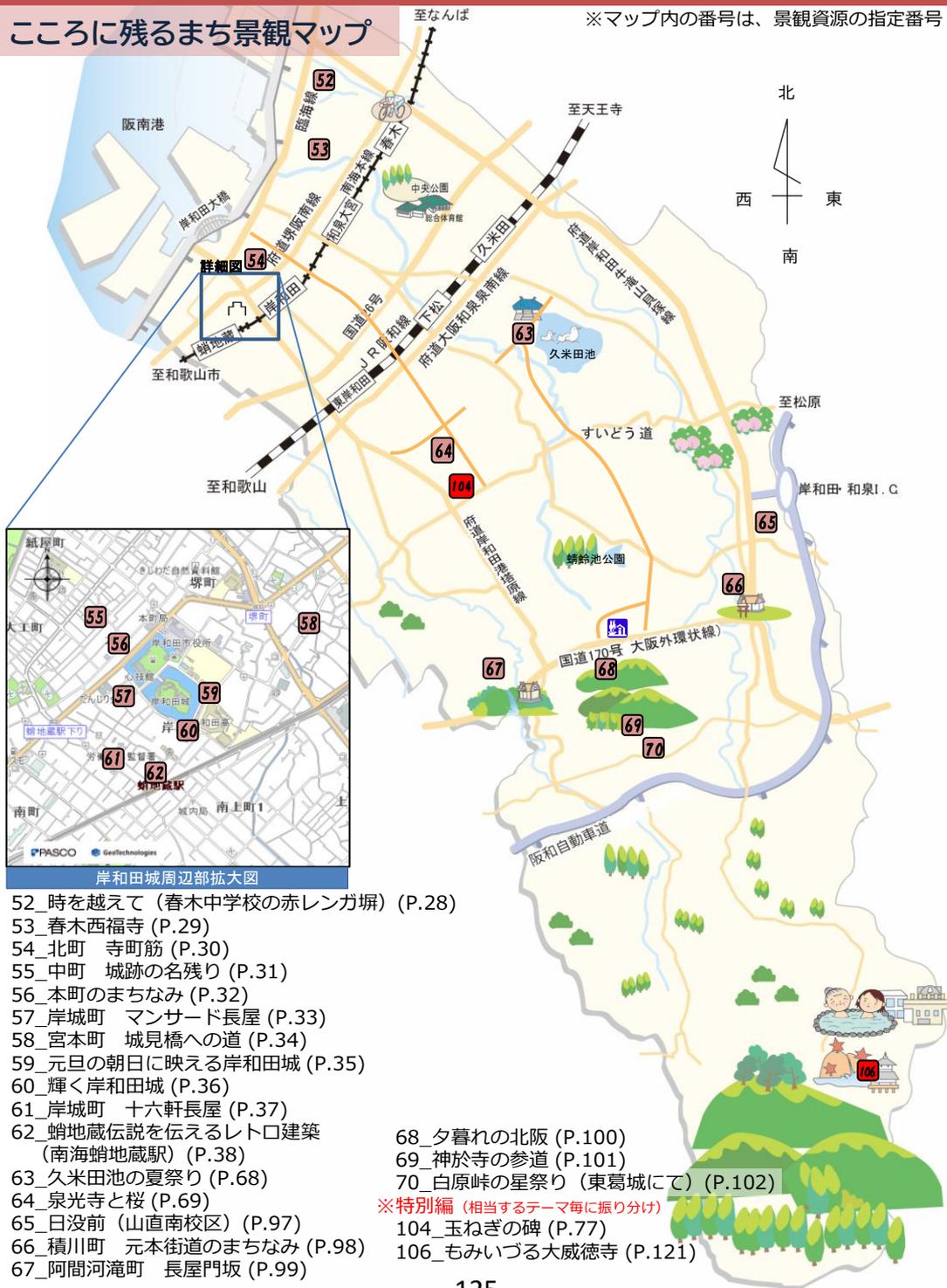
※マップ内の番号は、景観資源の指定番号



テーマ別「ここに残る景観資源」マップ

ここに残るまち景観マップ

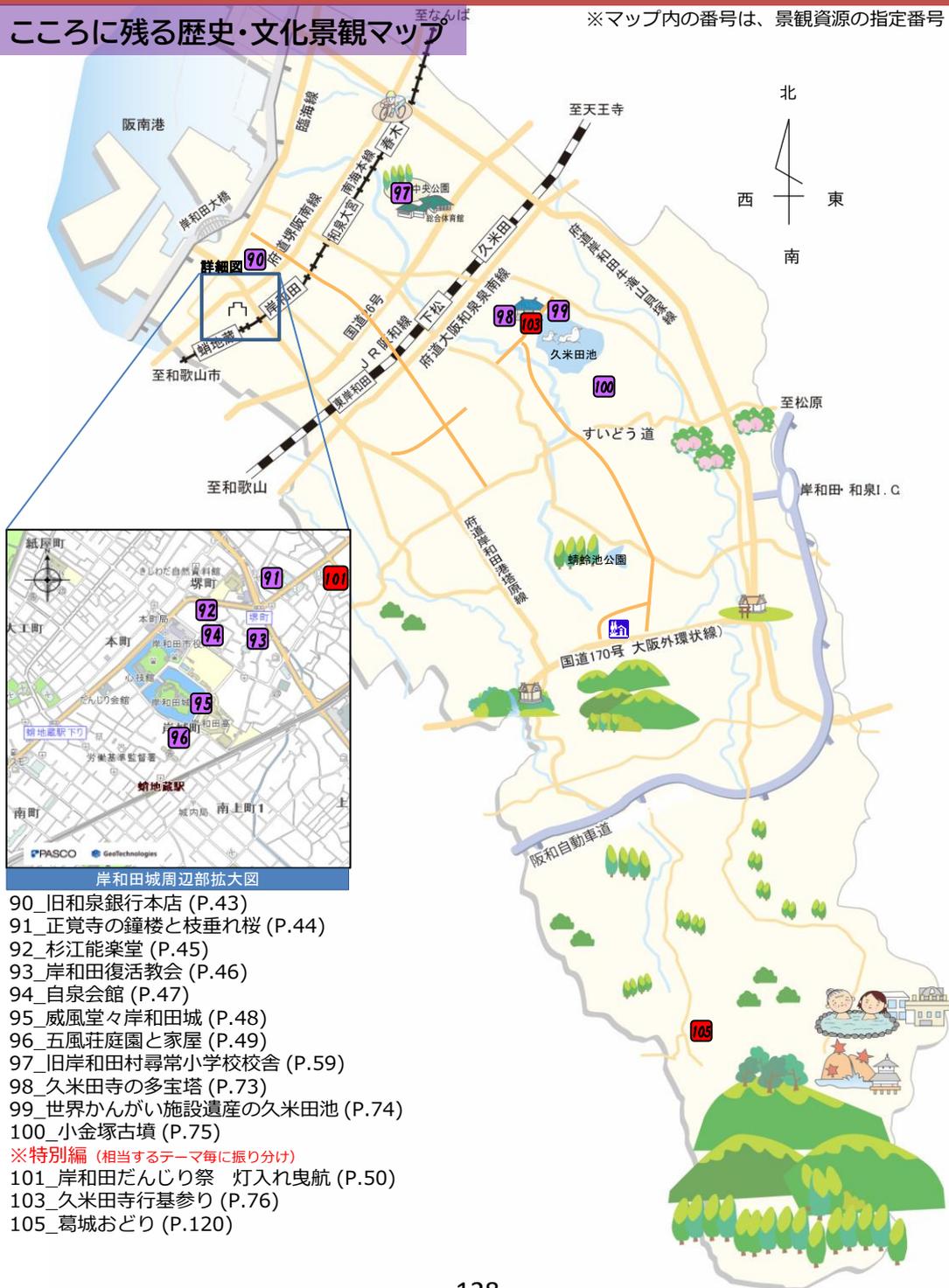
※マップ内の番号は、景観資源の指定番号



テーマ別「ここに残る景観資源」マップ

ここに残る歴史・文化景観マップ

※マップ内の番号は、景観資源の指定番号



- 90_旧和泉銀行本店 (P.43)
 91_正覚寺の鐘樓と枝垂れ桜 (P.44)
 92_杉江能楽堂 (P.45)
 93_岸和田復活教会 (P.46)
 94_自泉会館 (P.47)
 95_威風堂々岸和田城 (P.48)
 96_五風荘庭園と家屋 (P.49)
 97_旧岸和田村尋常小学校校舎 (P.59)
 98_久米田寺の多宝塔 (P.73)
 99_世界かんがい施設遺産の久米田池 (P.74)
 100_小金塚古墳 (P.75)
 ※特別編 (相当するテーマ毎に振り分け)
 101_岸和田たんじり祭 灯入れ曳航 (P.50)
 103_久米田寺行基参り (P.76)
 105_葛城おどり (P.120)



岸和田市のゆるキャラ「ちきりくん」が、こころに残る景観資源発掘プロジェクトの指定景観資源や景観重要樹木を巡り、岸和田市内の景観の魅力を伝えます。「ちきりくん」の活動はホームページでご覧いただけます♪（不定期更新）



こころに残る景観資源 発掘委員会 歴代委員の紹介

こころに残る景観資源の選定にあたっては、景観審議会の中に「こころに残る景観資源発掘委員会」を設け、景観資源選定にあたっての審査を行いました。歴代の発掘委員会委員をご紹介します。

※委員の所属等は、当時のものです。

【樹木景観】 H24・25年度実施	会長	藤田 忍	大阪市立大学大学院 教授	(H24・25)
		藤原 道子	弁護士	(H24)
		相良 長昭	岸和田市景観審議会市民公募委員	(H24・25)
		宮前 保子	(一財)国際花と緑の博覧会記念協会専務理事	(H24)
		西川 三記子	大阪市立大学生活科学部住環境学科 非常勤講師	(H25)
		藤崎 浩治	近畿大学理工学部非常勤講師	(H25)

【みち景観】 H26・27年度実施	会長	藤田 忍	大阪市立大学大学院 教授	(H26・27)
		大野 朋子	神戸大学大学院 准教授	(H26)
		頼友 明	岸和田市景観審議会市民公募委員	(H26・27)
		柳原 崇男	近畿大学 准教授	(H26)
		加我 宏之	大阪府立大学大学院 教授	(H27)

【水辺景観】 H28・29年度実施	会長	藤田 忍	大阪市立大学大学院 教授	(H28・29)
		行 龍男	岸和田文化事業協会 (前副会長)	(H28)
		坂井 勇郎	景観審議会市民公募委員	(H28・29)
		宮前 保子	(一財)国際花と緑の博覧会記念協会専務理事	(H28)
		堀田 祐三子	和歌山大学 教授	(H29)
		藤崎 浩治	近畿大学理工学部非常勤講師	(H29)

【まち景観】 H30・R1年度実施	会長	加我 宏之	大阪府立大学大学院 教授	(H30・R1)
		堀田 祐三子	和歌山大学 教授	(H30)
		行 龍男	岸和田文化事業協会 (前副会長)	(H30)
		今西 純一	大阪府立大学大学院 准教授	(H30)
		竹田 和真	(一財)大阪府公園協会	(R1)
		星乃 勝	特定非営利活動法人スマート観光推進機構理事長	(R1)
		吉本 光繪	武庫川女子大学 非常勤講師	(R1)

【ひとの営み景観】 R2年度実施	会長	加我 宏之	大阪府立大学大学院 教授	
		星乃 勝	特定非営利活動法人スマート観光推進機構理事長	
		数宝 奈保	岸和田市景観審議会市民公募委員	
		柳原 崇男	近畿大学 准教授	

【眺望景観】 R3年度実施	会長	加我 宏之	大阪府立大学大学院 教授	
		齊藤 憲子	岸和田文化事業協会 会長	
		数宝 奈保	岸和田市景観審議会市民公募委員	
		酒井 英樹	大阪市立大学 教授	

【歴史・文化】 R4年度実施	会長	田中 一成	大阪工業大学 教授	
		齊藤 憲子	岸和田文化事業協会 会長	
		稲垣 康子	岸和田市景観審議会市民公募委員	
		赤井 愛	大阪工業大学 准教授	

「こころに残る景観資源発掘委員会」に参加して初めて見る景観もあり、また訪れようと思うところもありました。そして岸和田市には素晴らしい景観が点在しており、景観の保全も行き届いているので、景観の保全だけでなく観光やまちづくりに活かしてもらいたいです。

(発掘委員会)



「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」の詳しい内容は岸和田市ホームページからご覧いただけます。

岸和田市ここに残る景観資源

検索



ここに残る景観資源発掘プロジェクトはこちら



岸和田市まちづくり推進部都市計画課 景観担当

〒596-8510 岸和田市岸城町7-1 ☎072-423-9538 (直通)

令和6年3月発行